

Pioneer sound.vision.soul

リモコンタイプ



はじめに

基本

テレビ

ビデオ

CD

MP3ディスク

DVD (AVIC-XH99)

ミュージックサーバー

映像と音の調整

付録

Audio Book

7.0型ワイドTV付

DVD/CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバーセット
AVIC-XH99

7.0型ワイドTV付

CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバーセット
AVIC-XH77

carrozzéria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行なっていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

⚠ 警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

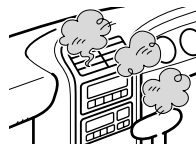
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する




必ず行う


ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

本書をお読みにする前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。

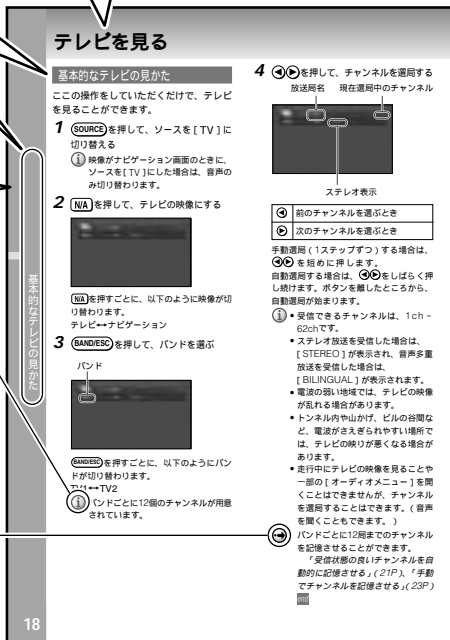
すぐに使いたい場合は、この帯の付いている部分をお読みください。

インフォメーションマーク  操作上、注意すべきことや操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明します。

参照マーク  参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。

大見出し

中見出し



テレビを見る

基本的なテレビの見かた

この操作をしていただくだけで、テレビを見ることができます。

1 **[SOURCE]**を押して、ソースを[TV]に切り替える

① 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを[TV]にした場合は、音声のみ切り替わります。


2 **[NA]**を押して、テレビの映像にする

[NA]を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。
テレビ⇒ナビゲーション

3 **[BANDSCO]**を押して、バンドを選ぶ



[BANDSCO]を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。
チャンネル⇒TV2

② バンドごとに12個のチャンネルが用意されています。

4 を押して、チャンネルを選局する

放送局名 現在選局中のチャンネル

ステレオ表示

	前のチャンネルを選ぶとき
	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局(1ステップずつ)する場合は、**③**を短めに押します。
自動選局する場合は、**④**をしばらく押し続けます。ボタンを離したところから、自動選局が始まります。

① ●受信できるチャンネルは、1ch～62chです。

●ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。

●電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。

●トンネル内や山かげ、ビルとの合間など、電波がささげられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。

●走行中にテレビの映像を見ることや一部の【オーディオメニュー】を開くことはできませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)

バンドごとに12個までのチャンネルを記憶させることができます。
「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(21P)、「手動でチャンネルを記憶させる」(23P)

18

ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、知りたい情報を探しやすいように構成されています。

情報の探しかた

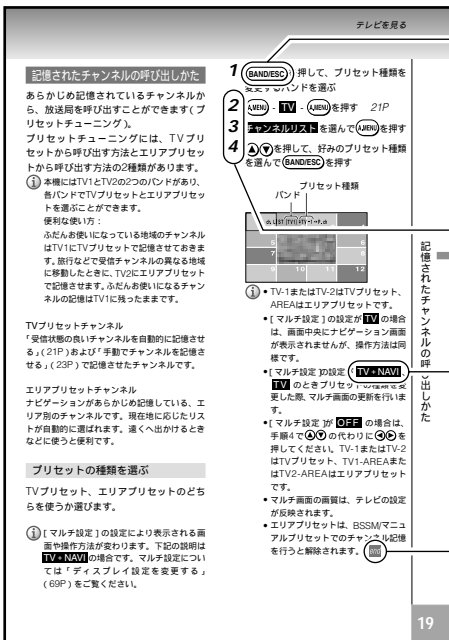
大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

中見出しは探しやすいように、ページをめくる側の全ページに入っています。



リモコンや本体上のボタン
リモコンや本体などについているボタンを表します。

操作手順の順番を示す番号

画面上のメニューやボタン
画面上に表示されるメニューやボタンを表します。

endマーク **end**
操作手順の終わりを表します。

注意マーク

安全のために、必ず守っていただきたいこととです。

操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明します。

i 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。

実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

続きマーク

右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

目次

	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
はじめに	本書の見かた	4
	はじめに	11
	リモコンの各ボタンの表記	11
	再生できるディスクの種類	13
	ディスクの構成について	15
	ミュージックサーバーに録音する	15
基本	基本操作	16
	電源を入れる・切る	16
	映像の切り替えかた	16
	ソースを切り替える	17
テレビ	テレビを見る	18
	基本的なテレビの見かた	18
	記憶されたチャンネルの呼び出しかた	19
	プリセットの種類を選ぶ	19
	プリセットチャンネルを順に呼び出す	20
	チャンネルリストから呼び出す	20
	便利な機能	21
	[TV]メニューを開く	21
	受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる （BSSM）	22
	音声多重放送の副音声を聞く	22
手でチャンネルを記憶させる （マニュアルプリセット）	23	
ビデオ	ビデオを見る	25
	ビデオを見られるようにする	25
	ビデオを見られるように設定する	25
	ビデオを見る	25

CDを聞く	26
基本的なCDの聞きかた	26
便利な機能	26
[CD]メニューを開く	26
同じ曲を繰り返し聞く(リピート再生)	27
いつもと違う曲順で聞く(ランダム再生)	27
聞きたい曲を探す(スキャン再生)	28
トラックリストから聞きたい曲を探す(トラックリスト)	28
再生を一時停止する(ポーズ)	29

MP3ディスクを聞く	30
基本的なMP3ディスクの聞きかた	30
便利な機能	31
[MP3]メニューを開く	31
同じ曲を繰り返し聞く(リピート再生)	31
いつもと違う曲順で聞く(ランダム再生)	32
聞きたい曲を探す(スキャン再生)	33
トラックリストから聞きたい曲を探す(トラックリスト)	33
再生を一時停止する(ポーズ)	34

DVDを見る(AVIC-XH99のみ)	35
リモコンの各ボタンの表記	35
基本的なDVDの見かた	36
メニュー画面の操作	36
チャプターを進める/戻す	37
次のチャプターに進める	37
前のチャプターに戻す	37
タイトルやチャプターをダイレクトに選ぶ (ダイレクトサーチ)	37
タイトルを選ぶ	37
チャプターを選ぶ	37
早送り/早戻しをする	37
早送りする	37
早戻しする	38

再生を停止する	38
便利な機能	38
静止画を見る(静止画再生)	38
コマ送りで見ると見る(コマ送り再生)	39
スローで見ると見る(スロー再生)	39
音声言語を切り替える(マルチ音声)	39
字幕言語を切り替える(マルチ字幕)	40
アングルを切り替える(マルチアングル)	40
コンディションメモリーについて	40
情報画面で操作する	41
情報画面を表示する	41
情報画面1で操作する	41
情報画面2で操作する	43
初期設定をする	44
初期設定メニューを表示する	44
字幕、アシスト字幕のオン/オフを設定する	45
字幕言語を設定する(マルチ言語字幕)	45
音声言語を設定する	46
メニュー言語を設定する	47
視聴制限を設定する(パレンタルロック)	48
テレビアスペクト(画面の縦横比)を設定する	49
アングル選択マークの表示を設定する	50

ミュージックサーバーを利用する 51

ミュージックサーバーとは	51
--------------	----

基本的なミュージックサーバーの聞きかた 51

聞きたい曲を曲名より選択して聞く	52
------------------	----

便利な機能	53
-------	----

[ミュージックサーバー]メニューを開く	53
同じ曲を繰り返し聞く(リピート再生)	53
いつもと違う曲順で聞く(ランダム再生)	54
曲を検索して聞く(スキャン再生)	55
再生を一時停止する(ポーズ)	56

ミュージックサーバーに録音する	56
録音についてのご注意	56
CD録音モードを設定する	56
CD録音の制限について	57
CD再生中に自動的に録音する	57
手動によるCDの録音	58
CDの1曲目だけを自動的に録音する	58
プレイリストの編集	59
新規のプレイリストを登録する	59
プレイリストの情報を編集する	60
プレイリストの再生順番を変更する	62
プレイリストを消去する	63
再生しないプレイリストを設定する	64
プレイリストに曲を追加する	64
トラックの情報を編集する	65
曲の再生順番を変更する	65
曲を消去する	66
タイトル情報を取得する(タイトルサーチ)	66

映像を調整する 69

ディスプレイ設定を変更する	69
画質の調整をする	70
画面を切り替える	72

音の調整をする 77

音量を調整する	77
音声案内がよく聞こえるようにする	77
内蔵スピーカーの音声をON/OFFする	78
音声をFM付きカーステレオで聞く	78

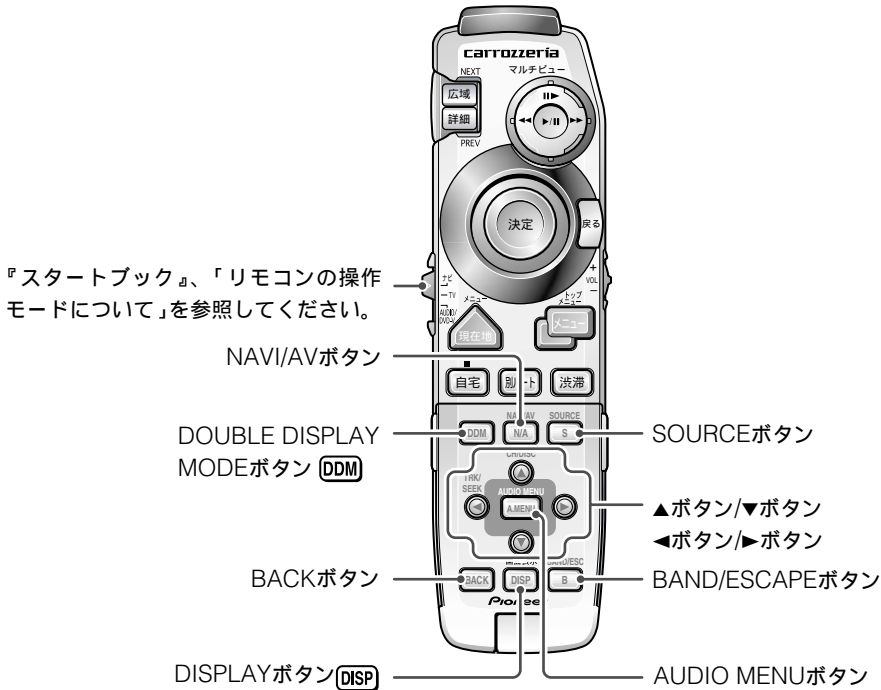
その他の機能と付録	80
音声で操作できる機能	80
バックカメラを組み合わせる	80
リアモニターを組み合わせる	81
TVモニターの正しい使いかた	81
MP3ファイルについて	82
言語コード表	84
DVD用語の解説	85
MP3用語の解説	86
故障かな?と思ったら	87
こんなメッセージが表示されたら	93
索引	95
メニュー索引	95
用語索引	98

はじめに

リモコンの各ボタンの表記

手順説明では、操作に必要な各ボタンをイラスト表示や名称で表しています。お手持ちのリモコンで、ボタン位置などを確認しておいてください。(AVIC-XH99のリモコンで説明します。)

➡ AVIC-XH99でDVDを操作する場合は、「リモコンの各ボタンの表記(35P)」を参照してください。



AVIC-XH77は、AVIC-XH99と印刷されている文字が異なります。

共通操作ボタン対応表




本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンとTVモニターに共通するボタンを、同じマークで表して操作説明をします。

ナビゲーション本体に 付属のリモコン	TVモニターのボタン	本書で使用する マーク
VOLUMEツマミ	VOLUMEボタン	
NAVI/AVボタン	NAVI/AVボタン	
SOURCEボタン	SOURCEボタン	
▲ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを上を倒す	
▼ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを下を倒す	
◀ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを左を倒す	
▶ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを右を倒す	
AUDIO MENU ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを押す	
BACKボタン	1	
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	

1 TVモニターのWIDE/V.ADJUSTボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間	
AVIC-XH99のみ DVDビデオ  	DVDビデオ 12cm/片面	(MPEG 2方式) 1層 133分 2層 242分	
	12cm/両面	1層 266分 2層 484分	
	DVDビデオ 8cm/片面	(MPEG 2方式) 1層 41分 2層 75分	
	8cm/両面	1層 82分 2層 150分	
	CD 	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分	

- i** • DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
 • また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
 • DVD-R/DVD-RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
 • CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
 • CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
 • Super Audio CDは、ハイブリッドディスクのCD層のみ再生することができます。
 • パイオニア製のCDレコーダーにより記録されたスキップ情報を認識し、再生時にその曲を飛ばして再生します(AVIC-XH77)。






ドルビーラバトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラバトリーズの商標です。(AVIC-XH99)

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。(AVIC-XH99)

- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ① DVDオーディオやDVD-R、DVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、12ページに記載されているマークの付いたディスクのみです。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できません。
- PQ(パソコン)で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- 音楽用CDレコーダーで録音したものを以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ(CD-DA)再生時)
- DDCC(Double Density CD)形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- MP3ファイルを記録したCD-ROMには「モード1」のみ対応しています。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
	音声の数を表わします。
	字幕の数を表わします。
	アングルの数を表わします。
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類を表わします。
	再生可能な地域番号(リージョン番号)を表わします。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。



禁止マーク

ディスクの構成について

DVDビデオ

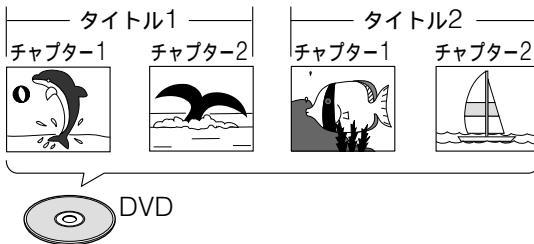
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など：

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク：

1曲が1タイトルとなっています。

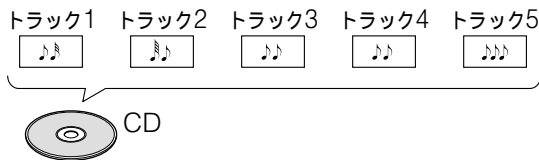


i 上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

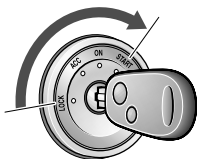
録音する前に必ずお読みください。

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

基本操作

電源を入れる・切る

1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

- ① ナビゲーション画面に切り替える場合は **[N/A]** を押してください。画面が切り替わります。
- 取り付け後の初めての起動ではナビゲーションの画面が出るまでに数秒かかったり、途中でOFFになりますが故障ではありません。

2 TVモニターの **[]** をしばらく押し続ける

TVモニターが電源が切れます。
TVモニターが電源が切れるとナビゲーションの音声案内は出力されません。

- ① もう一度 **[]** を押すと、TVモニターの電源が入ります。 **end**

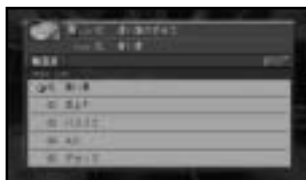
映像の切り替えかた

映像を、ソース画面 (DVD/CD/MP3ディスク、ミュージックサーバー、テレビ、ビデオ) とナビゲーション画面に切り替えることができます。

- 1 **[N/A]** を押して、映像を切り替える
[N/A] を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。
ナビゲーション画面



ソース画面

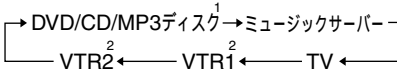


- ① ソース画面は、**[SOURCE]** で選ばれているソースの映像です。 **end**

ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルなどを確認することができます。

- 1 **[SOURCE]**を押して、ソースを切り替える
[SOURCE]を押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。



- 1 • DVDソースがあるのはAVIC-XH99のみです。
- DVD/CD/MP3のディスクが挿入されていない場合は、「ディスクが入っていません。」と表示されます。
- 2 [AV入力設定]でVTR1、VTR2をONにすると、VTR1、VTR2にも切り替わるようになります。「ビデオを見られるように設定する」(25P)

- 1 ナビゲーション画面のときは、**[SOURCE]**を押しても音声しか切り替わりません。選んだソースの映像を見たいときは、**[N/A]**を押してソース画面に切り替えてください。**end**

ソースをOFFにする

- 1 **[SOURCE]**をしばらく押し続ける
ソースがOFFになります。
もう一度**[SOURCE]**を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

- 1 **[i]** ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。**end**

ソースプレートを手動で表示する

TVを見ていてチャンネルを確認したいときなどに、ソースプレートを手動で表示させることができます。また表示されているソースプレートを消去することもできます。

- 1 **[DISP]**を押す
ソースプレートが表示または消去されます。



- 1 **[i]** ソースプレートの表示はしばらくすると自動的に消えます。**end**

テレビを見る

基本的なテレビの見かた

この操作をしていただくだけで、テレビを見ることができます。

1 **[SOURCE]** を押して、ソースを [TV] に切り替える

- ① 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを [TV] にした場合は、音声のみ切り替わります。

2 **[N/A]** を押して、テレビの映像にする



[N/A] を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

テレビ ↔ ナビゲーション

3 **[BAND/ESC]** を押して、バンドを選ぶ

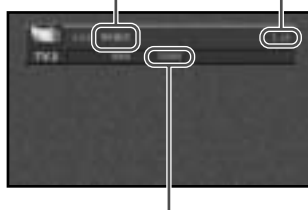


[BAND/ESC] を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。

TV1 ↔ TV2

- ① バンドごとに12個のチャンネルが用意されています。

4 ◀▶ を押して、チャンネルを選局する
放送局名 現在選局中のチャンネル



ステレオ表示

◀	前のチャンネルを選ぶとき
▶	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局 (1ステップずつ) する場合は、◀▶ を短めに押します。
自動選局する場合は、◀▶ をしばらく押し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。

- ① 受信できるチャンネルは、1ch ~ 62chです。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL] が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることや一部の [オーディオメニュー] を開くことはできませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)

↔ バンドごとに12局までのチャンネルを記憶させることができます。

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(22P)、
「手動でチャンネルを記憶させる」(23P)

end

記憶されたチャンネルの呼び出ししかた

あらかじめ記憶されているチャンネルから、放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、TVプリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

i 本機にはTV1とTV2の2つのバンドがあり、各バンドでTVプリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1にTVプリセットで記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、TV2にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルの記憶はTV1に残ったままです。

TVプリセットチャンネル

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(22P)および「手でチャンネルを記憶させる」(23P)で記憶させたチャンネルです。

エリアプリセットチャンネル

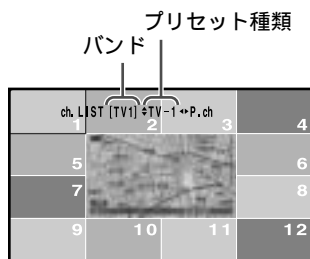
ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルです。現在地に依じたりストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

TVプリセット、エリアプリセットのどちらを使うか選びます。

i [マルチ設定]の設定により表示される画面や操作方法が変わります。下記の説明は**TV+NAVI**の場合です。マルチ設定については「ディスプレイ設定を変更する」(69P)をご覧ください。

- 1 **BAND/ESC**を押して、プリセット種類を変更するバンドを選ぶ
- 2 **A.MENU** - **TV** - **A.MENU**を押す 21P
- 3 **チャンネルリスト**を選んで**A.MENU**を押す
- 4 **▲▼**を押して、好みのプリセット種類を選んで**BAND/ESC**を押す



- i**
- TV-1またはTV-2はTVプリセット、AREAはエリアプリセットです。
 - [マルチ設定]の設定が**TV**の場合は、画面中央にナビゲーション画面が表示されませんが、操作方法は同様です。
 - [マルチ設定]の設定が**TV+NAVI**、**TV**のときプリセットの種類を変更した際、マルチ画面の更新を行います。
 - [マルチ設定]が**OFF**の場合は、手順4で**▲▼**の代わりに**◀▶**を押してください。TV-1またはTV-2はTVプリセット、TV1-AREAまたはTV2-AREAはエリアプリセットです。
 - マルチ画面の画質は、テレビの設定が反映されます。
 - エリアプリセットは、BSSM/マニュアルプリセットでのチャンネル記憶を行うと解除されます。 **end**

プリセットチャンネルを順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから、1局ずつ順に呼び出します。

- 1 **(BAND/ESC)**を押して、バンドを選ぶ
- 2 **(▲▼)**を押して、チャンネルを呼び出す



エリアプリセットの場合「AREA-PRESET」 プリセットチャンネル

▲	次のプリセットチャンネルを呼び出すとき
▼	前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

end

チャンネルリストから呼び出す

TVプリセットチャンネルまたはエリアプリセットチャンネルのリストを表示して、そこからチャンネルを呼び出すことができます。

- i** • [マルチ設定] の設定が **TV + NAVI** または **TV** の場合は「マルチ画面の場合」をお読みください。
- [マルチ設定] の設定が **OFF** の場合は、「リスト画面の場合」をお読みください。
 - マルチ画面表示中は、何も操作しなくても画面は自動解除されません。
 - マルチ設定については「ディスプレイ設定を変更する」(69P)をご覧ください。
 - マルチ画面の画質は、テレビの設定が反映されます。

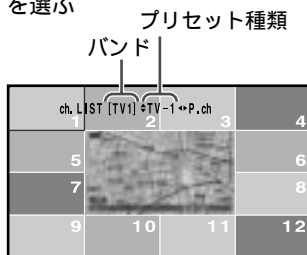
マルチ画面の場合

[マルチ設定] で **TV + NAVI** を選んだ場合を例に説明します。

- 1 **(BAND/ESC)**を押して、バンドを選ぶ
- 2 **(A.MENU) - TV - (A.MENU)**を押す
「[TV]メニューを開く」
- 3 **チャンネルリスト** を選んで **(A.MENU)** を押す



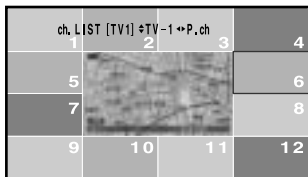
- 4 **(▲▼)**を押して、好みのプリセット種類を選ぶ



- i** • 画面の枠が緑のときはマルチ画面をひとつずつ移動します。
- TV-1またはTV-2はTVプリセット、AREAはエリアプリセットです。
 - ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。
 - [マルチ設定] の設定が **TV + NAVI**、**TV** のときプリセットの種類を変更した際、マルチ画面の更新を行います。

5 ◀▶ を押して見たいチャンネルを選んで (A.MENU) を押す

決定すると、選ばれているチャンネルの枠が緑から青に変わりマルチ画面上の移動を停止します。



- ① 枠が青のとき (A.MENU) を押すと緑の枠となり、マルチ画面をひとつずつ移動します。
- 枠が青でも ▶▶ でチャンネルを選べます。
- マルチ画面表示しても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

6 DISP を押す

① (BAND/ESC) で解除することもできます。 **end**

リスト画面の場合

1 (BAND/ESC) を押して、バンドを選ぶ

2 (A.MENU) - TV - (A.MENU) を押す 「[TV]メニューを開く」

3 チャンネルリストを選んで (A.MENU) を押す



4 ◀▶ を押して、好みのプリセット種類を選ぶ

プリセット種類



- ① • TV-1またはTV-2はTVプリセット、TV1-AREAまたはTV2-AREAはエリアプリセットです。
- ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

5 ▲▼ を押して、見たいチャンネルを選んで (A.MENU) を押す

- ① リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

6 (BAND/ESC) を押して、[TV]メニューを解除する **end**

便利な機能

テレビを見る場合の詳細設定 (BSSM、音声多重設定、マニュアルプリセット) は、[TV]メニューで行います。

[TV]メニューを開く

1 テレビの画面または音声のときに (A.MENU) を押す

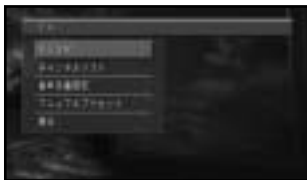
[オーディオメニュー]が表示されます。

2 ▲▼ を押して、TV にカーソルを合わせる

つづく >>

3 (A.MENU)を押す

[TV]メニューが表示されます。



- ① ● メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナavigーションの音声案内中は、[オーディオメニュー]は表示されません。end

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、チャンネル番号の小さい順に記憶させることができます(BSSM)。

① BSSMとは、Best Stations Sequential Memory(ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

1 (BAND/ESC)を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

2 (A.MENU) - TV - (A.MENU)を押す 21P

3 BSSMを選んで(A.MENU)を押す



4 (▲)を押して、BSSMを開始する

BSSM中は「BSSM実行中」と表示します。



▼を押すと、BSSMを中断します。

終了するとチャンネルリストが表示されます。

- ① ● 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。
- [マルチ設定]の設定によりBSSM終了後に表示される画面が変わります。マルチ設定については「ディスプレイ設定を変更する」(69P)をご覧ください。

5 (BAND/ESC)を押して、[TV]メニューを解除する

➡ 記憶させたチャンネルの呼び出し方は、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(20P)、「チャンネルリストから呼び出す」(20P)を参照してください。end

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。

① 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 (A.MENU) - TV - (A.MENU)を押す 21P

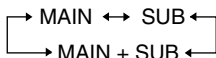
2 音声多重設定を選んで(A.MENU)を押す



3 ◀▶ を押して、聞きたい音声を選ぶ



◀▶を押すごとに、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声(日本語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN + SUB	主・副音声(日本語 + 外国語)

4 BAND/ESC を押して、[TV]メニューを解除する *end*

手動でチャンネルを記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

- [マルチ設定]の設定が **TV+NAVI** または **TV** の場合は「マルチ画面の場合」をお読みください。
- [マルチ設定]の設定が **OFF** の場合は、「リスト画面の場合」(24P)をお読みください。
- マルチ画面表示中は、何も操作しなくても画面は自動解除されません。
- マルチ設定については「ディスプレイ設定を変更する」(69P)をご覧ください。
- マルチ画面の画質は、テレビの設定が反映されます。

マルチ画面の場合

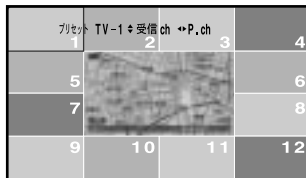
[マルチ設定]で **TV+NAVI** を選んだ場合を例に説明します。

- 1 BAND/ESC を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ
- 2 A.MENU - TV - A.MENU を押す 21P
- 3 マニュアルプリセット を選んで A.MENU を押す



i エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

4 ◀▶ を押して、変更するプリセットを選ぶ



選ばれているプリセットチャンネルは緑の枠で表示されます。

• **TV** の場合

上段	P1、P2、P3、P4
中段	P5、P6、P7、P8
下段	P9、P10、P11、P12

• **TV+NAVI** の場合

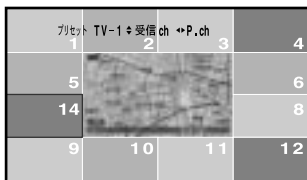
上段	P1、P2、P3、P4
中上段	P5、P6
中下段	P7、P8
下段	P9、P10、P11、P12

5 ▲▼を押して、チャンネルを選局する

▼	前のチャンネルを選ぶとき
▲	次のチャンネルを選ぶとき

① ▲▼をしばらく押し続けると、受信できる周波数を自動的にさがします。

6 (A.MENU)を押して、チャンネルを記憶させる決定すると枠が緑から赤に変わります。



① 続けて手動でチャンネルを記憶させる場合は、手順4~6を繰り返してください。

7 (BAND/ESC)を押して、[TV]メニューを解除する

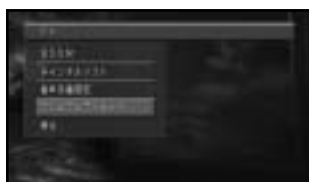
➡ 記憶させたチャンネルの呼び出し方は「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(20P)、「チャンネルリストから呼び出す」(20P)を参照してください。end

リスト画面の場合

1 (BAND/ESC)を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

2 (A.MENU) - TV - (A.MENU)を押す 21P

3 マニュアルプリセットを選んで(A.MENU)を押す



4 ▲▼を押して、記憶させたいプリセットNo.を選ぶ



5 ◀▶を押して、チャンネルを選局する

◀	前のチャンネルを選ぶとき
▶	次のチャンネルを選ぶとき

① ◀▶をしばらく押し続けると、受信できる周波数を自動的にさがします。

6 (A.MENU)を押して、受信チャンネルを記憶する



① 続けて手動でチャンネルを記憶させる場合は、手順4~6を繰り返してください。

• エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

7 (BAND/ESC)を押して、[TV]メニューを解除する

➡ 記憶させたチャンネルの呼び出し方は、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(20P)、「チャンネルリストから呼び出す」(20P)を参照してください。end

ビデオを見る

ビデオを見られるようにする

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

i 初期設定では、[VTR1]、[VTR2]ともにOFFに設定されています。

1 各ソース画面で **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す



3 **AV入力設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

4 **(▲▼)** を押して、設定する項目にカーソルを合わせる



5 **(▶)** を押して、VTRを **ON** にする



OFF にするには **(◀)** を押します。

ON	ビデオの映像や音声に切り替わる
OFF	ビデオの映像や音声に切り替わらない

6 **(BAND/ESC)** を押して、[オーディオメニュー]を解除する **end**

i VTR1で **Back Camera** を選ぶことができます。**Back Camera**はVTR1にバックカメラを接続したときに設定します。

「バックカメラを組み合わせる」(80P)

end

ビデオを見る

ビデオソースに切り替えて、ビデオやカメラの映像を見ます。

1 **(SOURCE)** を押して、ソースを [VTR1] または [VTR2] に切り替える



i • [AV入力設定]でVTR1、VTR2が**OFF**になっている場合、VTR1、VTR2に切り替わりません。

• [AV入力設定]を**Back Camera**に設定していると、VTR1には切り替わりません。

• 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを[VTR1]または[VTR2]にした場合は、音声のみ切り替わります。

• 映像をナビゲーション画面からビデオにする場合は、**(N/A)**を押して切り替えます。 **end**

CDを聞く

基本的なCDの聞きかた

この操作をしていただくだけで、CDを聞くことができます。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDを差し込む

自動的に再生が始まります。

ディスク再生中トラックNo、
ソース タイトル トラックタイトル



トラックタイトル 再生中トラック
トラックNo. の経過時間
トラックタイトルリスト

内蔵のデータベースから情報が取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトルが表示され、トラックタイトルのリストが表示されます。

	再生中のトラック
	未録音のトラック

- ① ディスクを正しい方向で差し込んでください。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報を取得できなかった場合は、[No Title]と表示されます。
- ミュージックサーバーに録音されたCDを再生する場合、ミュージックサーバーで取得または編集したタイトルが表示されます。
- **[C]切替**を押して、トラックタイトルリストを消すことができます。もう一度押すと、再び表示されます。
- 既にCDが挿入されていて、他のソースからCDソースに切り替える場合は、**[SOURCE]**を押して、CDソースに切り替えます。

- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードはオートです。再生したCDは、自動的に録音されます。
- 曲間の無いCDを再生すると、ミュージックサーバー未録音のもののみ曲と曲の間が音飛びのように再生されませんが故障ではありません。

2 ◀▶を押して、聞きたい曲を選ぶ

◀	前の曲を選ぶとき
▶	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、◀をしばらく押し続けます。
早送りする場合は、▶をしばらく押し続けます。

3 ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、CDを取り出す 再生を中止して、CDが出てきます。

- ① ● 出てきたCDはすぐに取り出して保管してください。
- CDをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。 **end**

便利な機能

CDを聞く場合の機能(リピート、ランダム、スキャン、トラックリスト、ポーズ)は、[CD]メニューで行います。

[CD]メニューを開く

- 1 CD再生中に**[A.MENU]**を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。



- 2 ▲▼を押して、**[CD]**にカーソルを合わせる

3 (A.MENU)を押す

[CD]メニューが表示されます。



- ① • メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、[オーディオメニュー]は表示されません。 **end**

同じ曲を繰り返し聞く

現在再生中の曲を、繰り返し聞くことができます(リピート再生)。

- 1 (A.MENU) - **CD** - (A.MENU)を押す
「[CD]メニューを開く」

- 2 **リピート**を選んで(A.MENU)を押す



- 3 (▲)を押して、リピートを**ON**にする



OFFにするには(▼)を押します。

- 4 (BAND/ESC)を押して、[CD]メニューを解除する

リピート再生中の表示



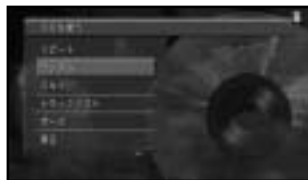
- ① リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。
 - ランダム再生
 - スキャン再生
 - トラックリストからの選曲による再生「トラックリストから聞きたい曲を探す(28P)」
 - 曲の切り替え
 - 早送り/早戻し **end**

いつもと違う曲順で聞く

現在再生中のCDを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

- 1 (A.MENU) - **CD** - (A.MENU)を押す
「[CD]メニューを開く」

- 2 **ランダム**を選んで(A.MENU)を押す



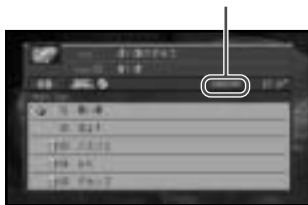
- 3 (▲)を押して、ランダムを**ON**にする



OFFにするには(▼)を押します。

- 4 **(BAND/ESC)** を押して、[CD]メニューを解除する

ランダム再生中の表示



- i** ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。
- リピート再生
 - スキャン再生
 - トラックリストからの選曲による再生 「トラックリストから聞きたい曲を探す」(28P)^{end}

聞きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます(スキャン再生)。

- 1 **(A.MENU)** - **CD** - **(A.MENU)** を押す 26P
- 2 **スキャン** を選んで **(A.MENU)** を押す



- 3 **(V)** を押して、スキャンを **ON** にする



OFF には **(V)** を押します。

- i** スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります([SCAN]と表示されます)。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

スキャン再生中の表示



- 4 聞きたい曲が再生されたら、**(V)** を押して、スキャンを **OFF** にする
スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1より行って、手順3でスキャンを **OFF** にします。

- 5 **(BAND/ESC)** を押して、[CD]メニューを解除する

- i** スキャン再生中に以下の操作を行うとスキャン再生が中止されます。
- トラックリストからの選曲による再生 「トラックリストから聞きたい曲を探す」(28P)
 - 曲の切り替え
 - 早送り/早戻し
 - ソースの切り替え
 - 電源OFF(エンジンOFF)^{end}

トラックリストから聞きたい曲を探す

曲名をリスト表示して、選曲することができます(トラックリスト)。

- 1 **(A.MENU)** - **CD** - **(A.MENU)** を押す 26P

2 **トラックリスト**を選んで(A.MENU)を押す



3 聞きたいタイトルにカーソルを合わせて、(A.MENU)を押す

選んだ曲が再生され、再生中の曲に が表示されます。

ディスクタイトル



トラックタイトル

	カーソルが上に移動する
	カーソルが下に移動する
	リスト戻し
	リスト送り

i リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、 を押して表示させます。

表示中のリストの1曲目または6曲目を選択しているときに または を押すと、リストの前ページまたは次ページに送ることができます。

• タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。

• 未録音のトラックは を表示します。

4 **BAND/ESC**を押して、[CD]メニューを解除する *end*

再生を一時停止する

CDの再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 **(A.MENU)** - **CD** - **(A.MENU)**を押す 26P

2 **ポーズ**を選んで**(A.MENU)**を押す



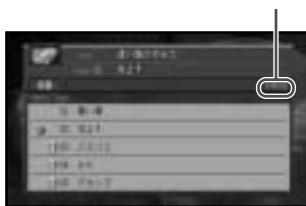
3 を押して、ポーズを**ON**にする



OFF するには を押します。

4 **(BAND/ESC)**を押して、[CD]メニューを解除する

ポーズ中の表示



i ポーズ中に以下の操作を行うとポーズが解除されます。

- 曲の切り替え
- ソースの切り替え
- 電源OFF(エンジンOFF) *end*

MP3ディスクを聞く

基本的なMP3ディスクの聞きかた

この操作をしていただくだけで、CD-ROM/R/RWに記録されたMP3ファイルを聞くことができます。

再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(82P)を参照してください。

- 1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCD-ROM/R/RWを差し込む
自動的に再生が始まります。

ディスク 再生中のトラックNo、
ソース タイトル トラックタイトル



トラックタイトル
トラックNo. 再生中トラック
トラックタイトルリスト の経過時間

ID3 Tagからタイトル情報を取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトルが表示され、トラックタイトルリストには、ファイル名およびフォルダ名が表示されます。



再生中のトラック

- ① CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- タイトル情報を取得できなかった場合は、ソースプレートにはMP3のフォルダ名がディスクタイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。

- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。MP3ファイルを含まないフォルダは表示されません。
- 既にMP3ファイルが記録されたCD-ROM/R/RWが挿入されていて、他のソースからMP3ソースに切り替える場合は、**[SOURCE]**を押して、MP3ソースに切り替えます。
- トラックタイトルリストはID3Tagのタイトル情報に関係なくフォルダ名、ファイル名のリストになります。
- トラックタイトルリストにはファイル、フォルダの順に表示されます。フォルダには番号表示しません。フォルダマーク表示をします。
- **[切替]**を押すごとに、トラックタイトルリストの表示が次のように切り替わります。
「リスト表示」「詳細表示」「OFF」
「リスト表示」に戻る

- 2 **[▲][▼][◀][▶]**を押して、聞きたい曲を選ぶ

[◀]	前の曲を選ぶとき
[▶]	次の曲を選ぶとき
[▲]	前のフォルダの最初の曲を選ぶとき
[▼]	次のフォルダの最初の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、**[◀]**をしばらく押し続けます。
早送りする場合は、**[▶]**をしばらく押し続けます。

- 3 ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、CD-ROM/R/RWを取り出す
再生を中止して、CD-ROM/R/RWが出てきます。

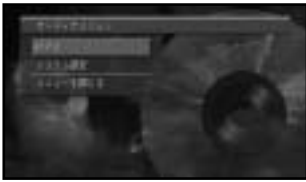
- ① 出てきたCD-ROM/R/RWはすぐに取り出して保管してください。
- CD-ROM/R/RWをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。 **[end]**

便利な機能

MP3ファイルを聞く場合の機能(リピート、ランダム、スキャン、トラックリスト、ポーズ)は、[MP3]メニューで行います。

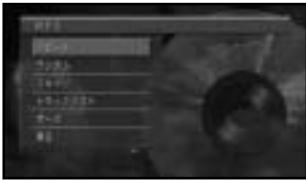
[MP3]メニューを開く

- 1 MP3ファイル再生中に(A.MENU)を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。



- 2 (▲▼)を押して、MP3にカーソルを合わせる

- 3 (A.MENU)を押す
[MP3]メニューが表示されます。



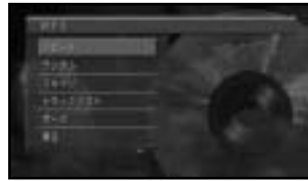
- メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、[オーディオメニュー]は表示されません。end

同じ曲を繰り返し聞く

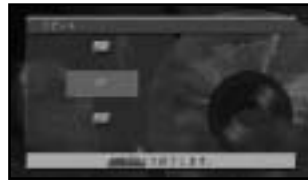
現在再生中の曲を、繰り返し聞くことができます(リピート再生)。

- 1 (A.MENU) - MP3 - (A.MENU)を押す
「[MP3]メニューを開く」

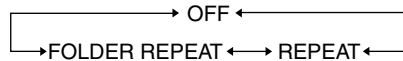
- 2 リピートを選んで(A.MENU)を押す



- 3 (▲▼)を押して、好みの設定を選ぶ



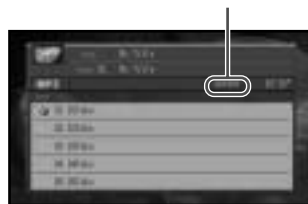
(▲▼)を押すごとに、次のように切り替わります。



REPEAT	再生中の曲を繰り返し演奏します。
FOLDER REPEAT	再生中の曲と同じフォルダ内にある全ての曲を、繰り返し演奏します。
OFF	本機にセットされているディスクを通して再生します。

- 4 (BAND/ESC)を押して、[MP3]メニューを解除する

リピート再生中の表示



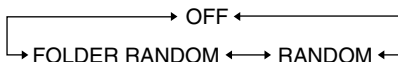
- ① リピート再生中に以下の操作を行うとリピート再生が中止されます。

FOLDER REPEAT:

- ランダム再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生「トラックリストから聞きたい曲を探す」(33P)
- フォルダの切り替え

REPEAT:

- ランダム再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生「トラックリストから聞きたい曲を探す」(33P)
- 曲の切り替え
- フォルダの切り替え **end**

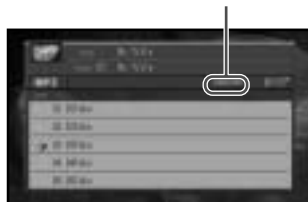


RANDOM	ディスク内の全ての曲をランダム演奏します。
FOLDER RANDOM	再生中の曲と同じフォルダ内にある全ての曲を、ランダム演奏します。
OFF	ランダム演奏しません。

- ① FOLDER RANDOMは、再生中のフォルダ内の曲だけ再生します。フォルダ内にあるフォルダは再生しません。

- 4 **[BAND/ESC]**を押して、[MP3]メニューを解除する

ランダム再生中の表示



- ① ランダム再生中に以下の操作を行うとランダム再生が中止されます。

RANDOM:

- リピート再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生「トラックリストから聞きたい曲を探す」(33P)

FOLDER RANDOM:

- リピート再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生「トラックリストから聞きたい曲を探す」(33P)
- フォルダの切り替え **end**

いつもと違う曲順で聞く

現在再生中のMP3ファイルを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

- 1 **[A.MENU]** - **[MP3]** - **[A.MENU]**を押す 31P

- 2 **[RANDOM]**を選んで**[A.MENU]**を押す



- 3 **[▲]****[▼]**を押して、好みの設定を選ぶ



[▲]**[▼]**を押すごとに、次のように切り替わります。

聞きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます(スキャン再生)。

1 (A.MENU) - **MP3** - (A.MENU)を押す 31P

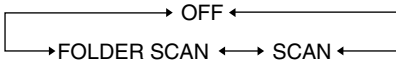
2 **スキャン**を選んで(A.MENU)を押す



3 (▲▼)を押して、好みの設定を選ぶ



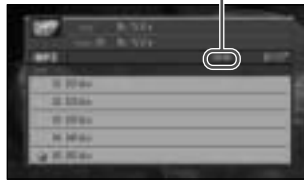
(▲▼)を押すごとに、次のように切り替わります。



SCAN	再生中の曲と同じフォルダ内にある全ての曲を、スキャン演奏します。
FOLDER SCAN	全フォルダの先頭の曲の始めの部分を演奏します。
OFF	スキャン演奏しません。

- ①
- スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります([SCAN]と表示されます)。
 - スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

スキャン再生中の表示



4 聞きたい曲が再生されたら、(▲▼)を押して、スキャンを**OFF**にする
スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1より行って、手順3でスキャンを**OFF**にします。

5 (BAND/ESC)を押して、[MP3]メニューを解除する

① スキャン再生中に以下の操作を行うとスキャン再生が中止されます。

- リPEAT再生
- ランダム再生
- トラックリストからの選曲による再生「トラックリストから聞きたい曲を探す(33P)」
- 曲の切り替え
- 早送り/早戻し
- フォルダの切り替え
- ソースの切り替え
- 電源OFF(エンジンOFF) **end**

トラックリストから聞きたい曲を探す


曲名をリスト表示して、選曲することができます(トラックリスト)。

1 (A.MENU) - **MP3** - (A.MENU)を押す 31P

2 **トラックリスト**を選んで(A.MENU)を押す

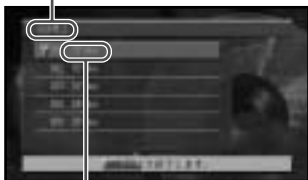


3 聞きたいタイトルにカーソルを合わせ て、(A.MENU)を押す





選んだ曲が再生され、再生中の曲に  が表示されます。






フォルダを選んで(A.MENU)を押すと、フォルダ内の曲のリストが表示されます。

フォルダ名



ファイル名(またはフォルダ名)

	カーソルが上に移動する
	カーソルが下に移動する
	リスト戻し
	リスト送り

-  • トラックリストはID3Tagのタイトル情報に関係なくフォルダ名、ファイル名のリストになります。
- リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、  を押して表示させます。
表示中のリストの1曲目または6曲目を選択しているときに  または  を押すと、リストの前ページまたは次ページに送ることができます。
- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。
- MP3ファイルを含まないフォルダは表示されません。
- タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。

4 (BAND/ESC)を押して、[MP3]メニューを解除する

再生を一時停止する

MP3の再生を一時停止することができます(ポーズ)。


1 (A.MENU) - MP3 - (A.MENU)を押す 31P

2 ポーズを選んで(A.MENU)を押す



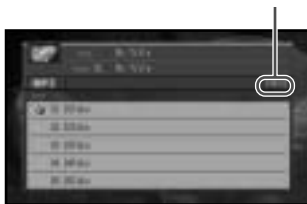
3 を押して、ポーズを ON にする





OFF にするには  を押します。

4 (BAND/ESC)を押して、[MP3]メニューを解除する

ポーズ中の表示

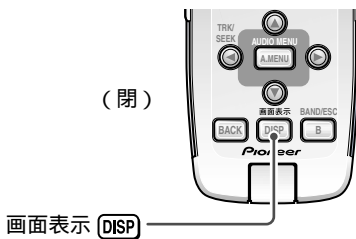
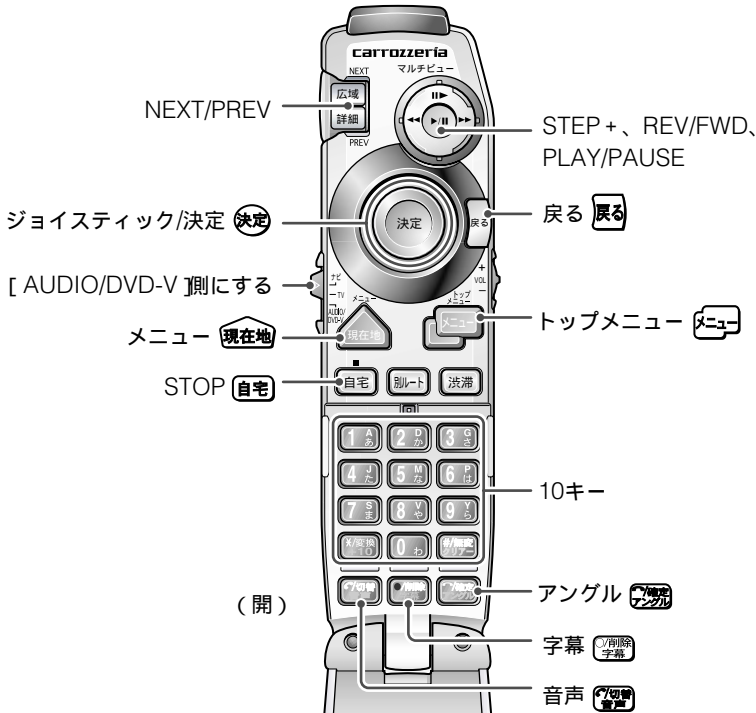


-  ポーズ中に以下の操作を行うとポーズが解除されます。
 - ソースの切り替え
 - 電源のOFF(エンジンOFF) 

DVDを見る (AVIC-XH99のみ)

リモコンの各ボタンの表記

手順説明では、DVDの操作に必要な各ボタンをイラスト表示や名称で表しています。お手持ちのリモコンで、ボタン位置などを確認しておいてください。



基本的なDVDの見かた

DVDの基本的な操作を説明します。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてDVDビデオディスクを差し込む

- ① ● 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- 再生中にマルチビューコントローラー(▶/■)を押すと、一時停止します。
- ナavigーションの画面からDVDの画面に切り替えるには、**[N/A]**を押します。
- すでにDVDビデオディスクが挿入されていて、他のソースからDVDソースに切り替える場合は、**[SOURCE]**を押してDVDソースに切り替えます。
- DVDの録音レベルは他のソースより低いいため、他のソースからDVDソースに切り替えると、音が小さく感じられます。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。

「メニュー画面の操作」

2 ディスク取り出しボタンを押してDVDビデオディスクを取り出す

再生を中止してDVDビデオディスクが出てきます。

- ① ● 出てきたDVDビデオディスクは、すぐに取り出して保管してください。
- DVDビデオディスクをセットしたままでも、**[SOURCE]**を押すと他のソースに切り替えることができます。 **end**

メニュー画面の操作

- ① 表示されるメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。

1 再生中に**[現在地]**または**[メニュー]**を押すメニュー画面が表示されます。

[現在地]	ルートメニューがある場合は、ルートメニューを表示する。 ルートメニューがない場合は、トップメニューを表示する
[メニュー]	トップメニューを表示する

チャプターメニューが表示された画面例



2 ジョイスティックを上下左右に倒してメニュー項目を選ぶ



3 **[決定]**を押す

選んだメニューから再生されます。 **end**

チャプターを進める/戻す

次や前のチャプターにすることができません。

次のチャプターに進める

- 1** 再生中にスケールコントローラーを〔NEXT〕側に倒す
タイトルNo./チャプターNo.が約8秒間表示され、次のチャプターに進みます。 **end**

前のチャプターに戻す

- 1** 再生中にスケールコントローラーを〔PREV〕側に倒す
タイトルNo./チャプターNo.が約8秒間表示され、前のチャプターの先頭に戻ります。
end

タイトルやチャプターをダイレクトに選ぶ

タイトルやチャプターをダイレクトに選ぶことができます(ダイレクトサーチ)。

- i** ディスクによっては、**Ⓢ**(禁止マーク)が表示され、操作できないことがあります。

タイトルを選ぶ

- 1** 停止中に、見たいタイトル番号を10キーで押す
タイトルNo.が約8秒間表示され、指定したタイトルから再生されます。
(例)「5」を選ぶ場合： **5** を押す。
「10」を選ぶ場合： **4/10**、**0** の順に押す。
「25」を選ぶ場合： **4/10**、**4/10**、**5** の順に押す。 **end**

チャプターを選ぶ

- 1** 再生中に、見たいチャプター番号を10キーで押す
チャプターNo.が約8秒間表示され、指定したチャプターから再生されます。
(例)「5」を選ぶ場合： **5** を押す。
「10」を選ぶ場合： **4/10**、**0** の順に押す。
「25」を選ぶ場合： **4/10**、**4/10**、**5** の順に押す。 **end**

早送り/早戻しをする

ディスクの早送りまたは早戻しをします。

早送りする

- 1** 再生中にマルチビューコントローラーを右側に倒す
Ⓢ(変換) (早送りマーク)が表示され、ディスクを早送ります。
マルチビューコントローラーを倒す時間によって、速度を調整できます。

通常に倒す	低速で早送り
2秒以上倒す	高速で早送り
5秒以上倒す	ボタンから手を離しても高速の早送りが継続する(見たい場所でマルチビューコントローラー(▶/⏪)を押すと、その場所から再生される)




- i** ディスクによって、早送りできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。 **end**


チャプターを進める/戻す/タイトルやチャプターをダイレクトに選ぶ/早送り/早戻しをする

早戻しする



- 1 再生中にマルチビューコントローラーを左側に倒す

 早戻しマークが表示され、ディスクを早戻しします。

マルチビューコントローラーを倒す時間によって、速度を調整できます。


通常に倒す	低速で早戻し
2秒以上倒す	高速で早戻し
5秒以上倒す	ボタンから手を離しても高速の早戻しが継続する(見たい場所でマルチビューコントローラー-  -)を押すと、その場所から再生される)






-  ディスクによって、早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。 

再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

- 1  を押す


-  • 再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、停止できないことがあります。 


便利な機能

再生中にいろいろな操作をすることができます。



静止画を見る



再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます(静止画再生)。

- 1 再生中にマルチビューコントローラー--)を押す

 (静止マーク)が約4秒間表示され、映像が一時停止します。



-  • 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、静止画再生できないことがあります。


- 2 もう一度-)を押すと、通常の再生に戻る 

コマ送りで見ると

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます(コマ送り再生)。

1 再生中にマルチビューコントローラーを上倒す

倒すごとに、映像が1コマ送られます。

- ① ● コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れることがあります。

2 マルチビューコントローラー-▶/||)を押すと、通常の再生に戻る end


スローで見ると

再生スピードを遅くして見ることができます(スロー再生)。

1 再生中にマルチビューコントローラーを上倒す

1秒以上倒すと、送り方向にスロー再生されます。



- ① ● スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生できないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。

2 マルチビューコントローラー-▶/||)を押すと、通常の再生に戻る end

音声言語を切り替える


再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

1 再生中にを押す

音声選択マークが表示されます。




2 を押して、音声を切り替える

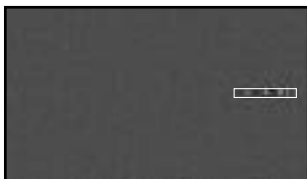
を押すごとに、音声が切り替わります。


- ① ● ジョイスティックを上下に倒したり、聞きたい音声番号の数字(10キー)を押して切り替えることもできます。
- この機能は、音声複数収録されている場合のみ有効です。
- DVDのパッケージについている②)マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
- DOLBY DIGITALやMPEG2オーディオなど、多チャンネル方式で記録された音声は、本機ではステレオ2chで出力されます。
- 本機はDTS音声には対応していません。DTS音声を選択した場合、音声は出力されません。 end


字幕言語を切り替える

再生中に字幕を切り替えることができます
(マルチ字幕)。

- 1 再生中に  を押す
字幕選択マークが表示されます。

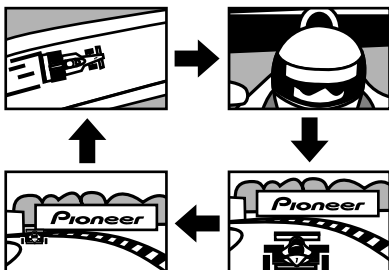



- 2  を押して、字幕を切り替える
字幕選択マークが表示されている間は、字幕切り替えができます。

- i**
- この機能は、字幕が収録されている場合のみ有効です。
 - 表示したい字幕言語番号の数字 (10キー) を押して切り替えることもできます。
 - DVDパッケージについている  マークの数字が、字幕の収録数です。
 - ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。 **end**


アングルを切り替える



再生中にアングルを切り替えることができます
(マルチアングル)。



- 1 複数のアングルが収録されている場面を再生中に  を押す
複数のアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。



- 2  を押して、アングルを切り替える
アングル選択マークとアングル番号が表示されている間は、アングル切り替えができます。

- i**
- この機能は、アングルが複数収録されている場合のみ有効です。
 - ジョイスティックを上下に倒したり、見たいアングル番号の数字 (10キー) を押して切り替えることもできます。
 - マルチアングルが収録されたDVDパッケージには、 マークがついています。 マークの数字が、アングルの収録数です。
 - アングル選択マークの表示のON/OFFは、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。
「アングル選択マークの表示を設定する (50P) **end**

コンディションメモリーについて

ディスク再生中の最後の設定内容を、ディスクごとに最大30枚まで自動的に記憶します。記憶されたディスクを再生すると、前回の設定内容で再生します。

- ① 記憶できる内容は、音声言語、字幕言語、アングル番号、テレビアスペクト、音声出力(L/R)です。
- ディスクによっては、コンディションメモリーが無効になってしまう場合があります。(音声言語や字幕言語の設定が自動的にディスクでの指定になります。)
- 記憶が30枚を超えたときは、古い記憶が削除され、新しい内容が記憶されます。

情報画面で操作する

情報画面からいろいろな再生操作をすることができます。

情報画面を表示する

1 [DISP]を押す

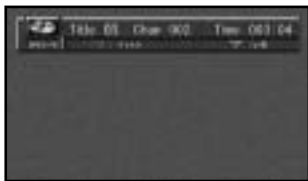
[DISP]を押すごとに、画面が以下のように切り替わります。

通常の映像画面

情報画面1



情報画面2



通常の映像画面に戻る **end**

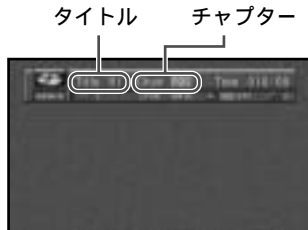
情報画面1で操作する

情報画面1では、タイトルやチャプター、時間を指定して見たい場面をサーチしたり、音声、字幕、アングルの切り替えを行うことができます。

- ① タイトルやチャプター、時間の指定は、情報画面2でも操作することができます。

タイトル、チャプターを指定する
タイトルやチャプターを指定して見たい場面を探して再生します。

- 1 情報画面1で、ジョイスティックを左右に倒して、タイトルまたはチャプターを選ぶ



選択した項目が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを上下に倒して、希望番号を指定する

- 3 **決定**を押す

- ① 情報画面を表示しなくても、ダイレクトに指定することもできます。
「タイトルやチャプターをダイレクトに選ぶ(37P)」
- メニューのあるディスクでは、**メニュー** または、**現在地**を押してメニュー画面を表示して選ぶこともできます。
- ディスクによっては、**禁止マーク**が表示され、タイトルやチャプターを指定できないことがあります。

つづく **>>**

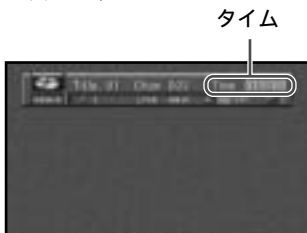
- 停止中のチャプター指定はできません。
- **決定**を押さずに約8秒間放置すると、指定した番号は無効となります。

end

時間を指定する

指定した時間から再生することができます(タイムサーチ)。

- 1 情報画面1で、ジョイスティックを左右に倒して、タイムを選ぶ



選択した項目が緑色で表示されます。

- 2 希望時間を10キーで入力する

(例)「23分21秒」を選ぶ場合:

2、**3**、**2**、**1**の順に押す。

「1時間18分」を選ぶ場合:

7、**8**、**0**、**0**の順に押す。

- i** 入力した番号を削除する場合は、**削除**を押します。

- 3 **決定**を押す

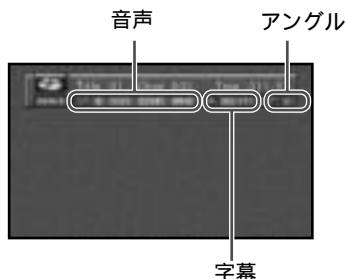
- i** • ディスクによっては、**禁止マーク**が表示され、時間指定できないことがあります。
- 停止中の時間指定はできません。
- **決定**を押さずに約8秒間放置すると、入力した番号は無効となります。

end

音声、字幕、アングルを切り替える
ディスク再生の音声や字幕、アングルを切り替えることができます。

- i** これらの機能は音声、字幕、アングルが複数収録されている場合のみ有効です。

- 1 情報画面1で、ジョイスティックを左右に倒して、音声、字幕、アングルのいずれかを選ぶ



選択した項目が緑色で表示されます。

- i** **切替**、**削除**、**決定**を押して選ぶこともできます。

- 2 ジョイスティックを上下に倒して希望の設定にする

- i** 音声、字幕、アングルは、再生中に**切替**、**削除**、**決定**、10キーで切り替えることもできます。

「音声言語を切り替える(39P)」「字幕言語を切り替える(40P)」「アングルを切り替える(40P)end

情報画面2で操作する

情報画面2では、リピート範囲や音声L/Rの切り替えを行うことができます。

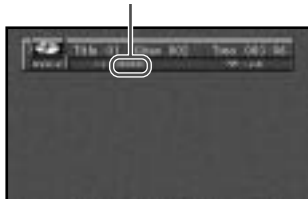
i タイトルやチャプター、時間の指定も行えます。

繰り返し再生する範囲を切り替える

繰り返し再生する範囲をディスク、タイトル、チャプターの中から設定することができます(リピート再生)。

1 情報画面2で、ジョイスティックを左右に倒して、リピート範囲を選ぶ

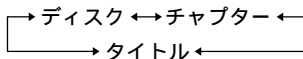
リピート範囲



選択した項目が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを上下に倒して希望の設定にする

ジョイスティックを上または下に倒すことにより、次のように切り替わります。



i • ディスクリピートの場合は、ディスクの最後まで再生したら、メニューを表示または停止します。

• ディスクまたは再生位置によっては、**⊘**(禁止マーク)が表示され、繰り返し再生する範囲を設定できないことがあります。 *end*

音声L/Rを切り替える

音声L/RをL + R、L、Rの中から設定することができます。

1 情報画面2で、ジョイスティックを左右に倒して、音声L/Rを選ぶ

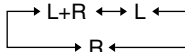
音声L/R



選択した項目が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを上下に倒して希望の設定にする

ジョイスティックを上または下に倒すことにより、次のように切り替わります。



end

初期設定をする

初期設定メニューの画面で、各項目の初期設定をすることができます。

初期設定メニューを表示する

- 1 **自宅**を押して、再生を停止する
- 2 **現在地**を押す
初期設定メニューの画面が表示されます。



- i** 初期設定メニューの画面表示中に **現在地**を押すと、初期設定メニューが消えて、停止状態に戻ります。

- 3 次のページ(2/2)を表示するには、スケールコントローラーを上倒す



- i**
- 前ページ(1/2)に戻るには、スケールコントローラーを下倒す。
 - 初期設定メニューは、各項目の設定ごとに、画面が切り替わります。別の項目を設定する場合は、**戻る**を押して、1つ前の画面に戻します。
 - メニュー画面右下の **NEXT** **PREV** を選んで、ページ送り、ページ戻しをすることもできます。



1つ前の画面に戻ります。



end

字幕、アシスト字幕のオン/オフを設定する

字幕、アシスト字幕のオン/オフを設定することができます。

- ①
- 出荷時の設定は、字幕 = オン、アシスト字幕 = オンです。
 - アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

1 **自宅** - **現在地** を押す 44P

- 2 ジョイスティックを上下に倒して、**基本字幕** を選んで **決定** を押す
基本字幕設定画面が表示されます。



- 3 ジョイスティックを操作して、**字幕** または **アシスト字幕** を選んで **決定** を押すボタンを押すごとに、選択した項目のオン/オフが切り替わります。



end

字幕言語を設定する

字幕として優先したい言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。

- ① 出荷時の設定は、日本語です。

1 **自宅** - **現在地** を押す 44P

- 2 ジョイスティックを上下に倒して、**基本字幕** を選んで **決定** を押す
基本字幕設定画面が表示されます。



- 3 ジョイスティックを上下に倒して、**言語選択** を選んで **決定** を押す



- 4 ジョイスティックを操作して、優先したい言語を選んで **決定** を押す
字幕言語が設定されます。



- ①
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。
 - この設定には影響なく、再生中に **削除字幕** を押すと、字幕言語を切り替えることもできます。

初期設定をする

その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表(84P)より、4桁の言語コードを10キーで入力して、**決定**を押します。



- i** 入力した番号を消す場合は、**削除**を押します。 **end**

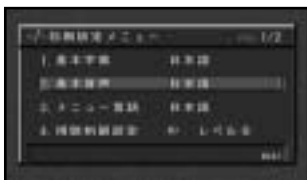
音声言語を設定する

音声として優先したい言語を設定することができます。

- i** 出荷時の設定は、日本語です。

1 **自宅** - **現在地** を押す 44P

2 ジョイスティックを上下に倒して、**基本音声**を選んで**決定**を押す
基本音声設定画面が表示されます。



3 ジョイスティックを操作して、優先したい言語を選んで**決定**を押す
音声言語が設定されます。



- i** • 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が出力されます。
• この設定には影響なく、再生中に**切替**を押すと、音声言語を切り替えることもできます。

その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表(84P)より、4桁の言語コードを10キーで入力して、**決定**を押します。



- i** 入力した番号を消す場合は、**削除**を押します。 **end**

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。

① 出荷時の設定は、日本語です。

1 **自宅** - **現在地** を押す 44P

2 ジョイスティックを上下に倒して、**メニュー言語** を選んで **決定** を押す
メニュー言語設定画面が表示されます。



3 ジョイスティックを操作して、優先したい言語を選んで **決定** を押す
音声言語が設定されます。



① 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語で表示されます。

その他 を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表(84P)より、4桁の言語コードを10キーで入力して、**決定** を押します。



① 入力した番号を消す場合は、**削除** を押します。 *end*

視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や、暴力シーンなど子供に見せたくない場面に視聴制限をすることができます(パレンタルロック)。

- ① ● 最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号の登録がないと操作できません。
- 出荷時の設定は、レベル8です。
- 視聴制限されたディスクを再生しようとしたときに、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、**戻る**を押してください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳細は、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルの設定

- 1 **自宅** - **現在地** を押す 44P
- 2 ジョイスティックを上下に倒して、**視聴制限設定** を選んで **決定** を押す
視聴制限設定画面が表示されます。



- 3 10キーで、4桁の暗証番号を入力する



- ① ● 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

- 4 **決定** を押す

暗証番号が設定され、レベルの設定ができるようになります。

- 5 ジョイスティックを左右に倒して、レベルを選ぶ

レベル8	ディスクをすべて再生する
レベル7~2	成人向けのディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル1	子供向けのディスクのみ再生する



- 6 **決定** を押す

視聴制限のレベルが設定されます。 *end*

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

- 1 **自宅** - **現在地** を押す 44P
- 2 ジョイスティックを上下に倒して、**視聴制限設定** を選んで **決定** を押す
視聴制限設定画面が表示されます。



- 3 10キーで、登録してある暗証番号を入力する



- 4 **決定** を押す
レベルの設定ができるようになります。
- ① 入力した暗証番号が間違っていると、**禁止マーク**が表示されます。この場合は、**戻る** を押して、正しい番号を入力し直してください。
 - ➡ 暗証番号を忘れた場合は、「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。

- 5 ジョイスティックを左右に倒して、レベルを選ぶ



- 6 **決定** を押す
変更した視聴制限のレベルが設定されます。
end

暗証番号を忘れたときは

「レベルを変更する」の手順3で**戻る**を10回押し、暗証番号が解除されたら、新しい暗証番号を登録します。

テレビアスペクト(画面の縦横比)を設定する

お使いのモニターに合わせて正しく設定してください。

① 出荷時の設定は、16:9です。

- 1 **自宅** - **現在地** を押す 44P
- 2 スケールコントローラーを上倒して、2ページ目に切り替える
- 3 ジョイスティックを上下に倒して、**テレビアスペクト** を選んで **決定** を押す
テレビアスペクト設定画面が表示されます。



つづく >>

4 ジョイスティックを上下に倒して、希望のテレビアスペクトを選ぶ

16:9	ワイドモニター使用時に選択する
レターボックス	ノーマルモニター使用時に選択する。 ディスクに収録されている映像が16:9のときは、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)になる
バンスキャン	ノーマルモニター使用時に選択する。 ディスクに収録されている映像が16:9のときは、バンスキャン(左右の切れた画面)になる

5 **決定**を押す

選んだテレビアスペクトが設定されます。

- ① • ノーマルモニターをお使いのときは、**レターボックス**、**バンスキャン**のどちらかに設定してください。
- バンスキャン指定されていないディスクを再生したいときは、**バンスキャン**に設定してもレターボックスでの再生になります。ディスクのパッケージなどで**16:9 LB**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳細は、ディスクの説明書を参照してください。 *end*

アングル選択マークの表示を設定する

マルチアングル収録されたディスクで、アングル切り替えができる場面を再生している間に表示する、アングル選択マークのON/OFFを切り替えることができます。

① 出荷時の設定は、ONです。

- 1 **自宅** - **現在地**を押す 44P
- 2 スケールコントローラーを上倒して、2ページ目に切り替える
- 3 ジョイスティックを上下に倒して、**マルチアングル**を選んで**決定**を押す
アングル設定画面が表示されます。



- 4 ジョイスティックを上下に倒して、ONまたはOFFを選んで**決定**を押す *end*

ミュージックサーバーを利用する

ミュージックサーバーとは

ミュージックサーバーは、CDからハードディスクに録音した曲や音声をいろいろな方法で再生することができます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます（MP3ファイルの再生）。ミュージックサーバーに録音された曲は、録音時に自動作成されたオリジナルプレイリストまたは、お好みに合わせて作成したユーザープレイリストにしたがって、再生することができます。

- ① CDを録音するには、録音モードを設定する必要があります。

「CD録音モードを設定する」(56P)

- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、プレイリスト名の頭につく文字で確認することができます。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト名の頭にOriginal(オリジナル)の O が表示される
ユーザープレイリスト	プレイリスト名の頭にUser(ユーザー)の U が表示される

- CDなどからデジタル録音したもののCD-R、PCカードなどから、さらにミュージックサーバーにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)により定められています。

- ➡ ユーザープレイリストを作成することができます。

「新規のプレイリストを登録する」(59P)

基本的なミュージックサーバーの聞きかた

登録されている全プレイリストが再生されます。

再生できるPCカード内のMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(82P)を参照してください。

- ① 全プレイリストが繰り返し再生されます。再生順の編集や再生をする/しないの設定をすることができます。

「プレイリストの再生順番を変更する」(62P)、「再生しないプレイリストを設定する」(64P)

- 録音中に、ミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。録音中のCDの音声をお楽しみください。
- PCカード内のMP3ファイルはミュージックサーバーのプレイリストの一番最後に表示されます。
- 多くの階層を持つPCカードは再生が始まるまで時間がかかります。

- 1 **SOURCE** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

プレイリスト 再生中のトラックNo、
ソース タイトル トラックタイトル



トラックタイトル
トラックNo. 再生中トラックの
トラックタイトルリスト 経過時間

- 2 聞きたい曲を選ぶ

▲▼▶◀を押して、選曲します。

▲	次のプレイリストを選ぶとき
▼	前のプレイリストを選ぶとき
◀	プレイリスト内で前の曲を選ぶとき
▶	プレイリスト内で次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、◀をしばらく押し続けます。

早送りする場合は、▶をしばらく押し続けます。

つづく >>

- i** ● **削除** を押すごとに、トラックリストの表示が次のように切り替わります。
 「通常表示」「よみ表示」「詳細表示」「OFF」「通常表示」に戻る
- PCカード内のMP3ファイルは、ID3 Tagからタイトル情報を取得できた場合は、ソースプレートにトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。
 - PCカード内のMP3ファイルのプレイリストタイトルは「PC-CARD」です。
 - PCカード内のMP3ファイルは、フォルダ分けしても表示されません。
 - PCカード内のMP3ファイル再生中にPCカードを抜くとハードディスク内の先頭のプレイリストを再生します。ハードディスク内にプレイリストが無い場合は再生が停止します。
 - PCカード内のMP3ファイルの再生順番はMP3ファイルを作成した順番になります。パソコンでPCカードへ複数まとめてコピーしたりフォルダごとコピーした場合はパソコンのファイルシステムに依存します。

- 3** **SOURCE** を押して、ミュージックサーバーの再生をやめる
 他のソースに切り替えるか、[OFF]と表示されるまで2秒以上押し続けてください。

end

聞きたい曲を曲名より選択して聞く

プレイリスト内から聞きたい曲を選択して再生することができます。

- 1** **(A.MENU)** - **ミュージックサーバー** - **(A.MENU)** を押す 「[ミュージックサーバー]メニューを開く」

- 2** **プレイリスト** を選んで **(A.MENU)** を押す

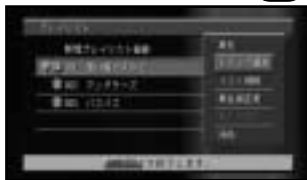


- 3** **(▲)** **(▼)** で聞きたい曲が登録されているプレイリストを選んで **(A.MENU)** を押す



再生中のプレイリストには、**(▶)** が表示されます。

- 4** **トラック選択** を選んで **(A.MENU)** を押す



- 5** 聞きたい曲を選んで **(A.MENU)** を押す



- 6** **再生** を選んで **(A.MENU)** を押す
 選択した曲が再生され、再生中の曲に **(▶)** が表示されます。



end

便利な機能

[ミュージックサーバー]メニューから音楽を聞く操作をしたり、詳細な設定をすることができます。

[ミュージックサーバー]メニューを開く

1 **(SOURCE)** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

2 **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。



3 **(▲▼)** を押して、**ミュージックサーバー**にカーソルを合わせる

4 **(A.MENU)** を押す
[ミュージックサーバー]メニューが表示されます。



- メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、[オーディオメニュー]は表示されません。 **end**

同じ曲を繰り返し聞く

再生中のプレイリストまたは、曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。

1 **(A.MENU)** - **ミュージックサーバー** - **(A.MENU)** を押す
「[ミュージックサーバー]メニューを開く」

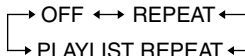
2 **リピート** を選んで **(A.MENU)** を押す



3 **(▲▼)** を押して、リピートを設定する



(▲▼) を押すごとに、次のように切り替わります。



PLAYLIST REPEAT	現在再生中のプレイリストをリピートする
REPEAT	現在再生中の曲をリピートする
OFF	本機に録音されたプレイリストを通して再生します。

つづく >>

4 **(BAND/ESC)** を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する

リピート再生中の表示



(i) リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- プレイリストからの選曲による再生
「聞きたい曲を曲名より選択して聞く」(52P)
- プレイリストの切り替え
- 曲の切り替え(REPEATのみ) **end**

いつもと違う曲順で聞く

再生中のプレイリスト内の曲順または、プレイリストの順番をランダムに再生することができます(ランダム再生)。

1 **(A.MENU)** - **ミュージックサーバー** - **(A.MENU)** を押す 53P

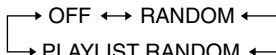
2 **ランダム** を選んで **(A.MENU)** を押す



3 **(▲▼)** を押して、ランダムを設定する



(▲▼) を押すごとに、次のように切り替わります。



PLAYLIST RANDOM	プレイリストをランダムに再生する。この時プレイリスト内の曲もランダムに再生する(再生中のプレイリスト内からランダム再生が始まる)
RANDOM	再生中のプレイリスト内からランダム再生される(他のプレイリストは選ばれない)
OFF	ランダム再生を取り消す

(i) 全曲をランダム再生することはできません。

4 **(BAND/ESC)** を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する

ランダム再生中の表示



- i** ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。
- リピート再生
 - スキャン再生
 - プレイリストからの選曲による再生
「聞きたい曲を曲名より選択して聞く」(52P)
 - プレイリストの切り替え **end**

PLAYLIST SCAN	全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を再生する
SCAN	現在再生中のプレイリストの全曲の始めの部分を再生する
OFF	スキャン再生を取り消す

- i** • スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります[SCAN]と表示されます)。
• スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

曲を検索して聞く

再生中のプレイリスト内の曲または、全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます(スキャン再生)。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU) を押す 53P

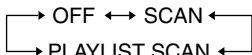
2 **スキャン** を選んで (A.MENU) を押す



3 (▲) (▼) を押して、スキャンを設定する



(▲) (▼) を押すごとに、次のように切り替わります。



4 聞きたい曲が再生されたらスキャン設定画面で (▲) (▼) を押して **OFF** にする

- i** スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1より行って手順3で **OFF** にします。

5 (BAND/ESC) を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する

- i** スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。
- リピート再生
 - ランダム再生
 - プレイリストからの選曲による再生
「聞きたい曲を曲名より選択して聞く」(52P)
 - 曲の切り替え
 - 早送り/早戻し
 - プレイリストの切り替え
 - ソースの切り替え
 - 電源OFF(エンジンOFF) **end**

再生を一時停止する

再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU) を押す 53P

2 **ポーズ** を選んで (A.MENU) を押す



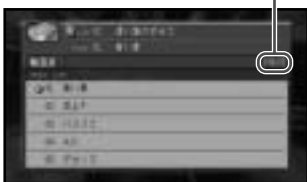
3 (A) を押して、ポーズを **ON** にする



OFF には (V) を押します。

4 (BAND/ESC) を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する

ポーズ中の表示



i ポーズ中に以下の操作を行うとポーズが解除されます。

- プレイリストからの選曲による再生
「聞きたい曲を曲名より選択して聞く」(52P)
- 電源OFF(エンジンOFF) **end**

ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

- ❗ 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

CD録音モードを設定する

CDの録音モードを設定することができます。

➡ いろいろな方法で録音することができます。

- 「CD再生中に自動的に録音する」(57P)
- 「手動によるCDの録音」(58P)
- 「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(58P)

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU) を押す 53P

2 **録音設定** を選んで (A.MENU) を押す



3 CD録音モードを選んで(A.MENU)を押す



4 (▲)(▼)を押して、録音モードを設定する



(▲)(▼)を押すごとに、次のように切り替わります。

オート→マニュアル→シングル

オート	CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音する
マニュアル	CDを再生しながら手動でミュージックサーバーへ録音する
シングル	CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音する

5 (BAND/ESC)を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する end

CD録音の制限について

すべてのモード

- CD以外のソースに切り替えても、CDは停止せず、裏で録音を続けます。ただし、(削除)を押すと、録音が中止されます。
- 録音中は、本機の操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びしてもエラーが検出されなかった場合は、無音状態が録音されることがあります。
- 曲間の無いCDについては、曲と曲の間が音飛びしたように録音されます。

- ミュージックサーバーの録音可能時間が録音するCDより短い場合は、録音されません。
- CDなどからデジタル録音したもの(CD-R、PCカードなど)から、さらにミュージックサーバーにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)により定められています。

オート/シングルモード

- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- エンジンをOFFにすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンをONにすると、エンジンをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。
- 選曲/早送り/早戻しすると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します(オートモードのみ)。
- スキャン/一時停止すると、録音を中止します。
- 家庭用CDレコーダーで録音したCD-Rなど、コピー禁止のディスクからは録音できません。

マニュアルモード(1曲のみ)

- CD録音モードをオートに切り替えると、次の曲から録音を開始します。
- CD録音モードをシングルに切り替えると、次の未録音の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

CD再生中に自動的に録音する

CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音します。

- (→) 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

「CD録音モードを設定する」

つづく >>

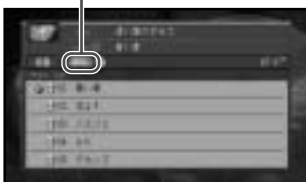
- ① • どのソースを聞いている時でも、録音を停止する場合は **[削除字幕]** を押します。
- 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する (56P) の録音モードを **オート** に設定する

2 CDを再生する

- ➡ 「基本的なCDの聞きかた (26P) を参照してください。

録音中の表示(赤色)



再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。

- ① 地図画面の場合、右上に **[R]** が表示されます。 **end**

手動によるCDの録音

CDの曲を、手動でミュージックサーバーへ録音します。

- ➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

「CD録音モードを設定する (56P)

- ① • 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。
- 1曲録音すると、録音は終了します。

1 「CD録音モードを設定する (56P) の録音モードを **マニュアル** に設定する

2 CD再生中、録音する曲で **[削除字幕]** を押す
録音する曲の始めに戻って、録音を開始します。

録音中の表示(赤色)



- ① • どのソースを聞いている時でも、録音を停止する場合は **[削除字幕]** を押します。
- 地図画面の場合、右上に **[R]** が表示されます。
- AVIC-XH99の場合はリモコン操作モードをオーディオ操作モード以外にしてください。 **end**

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音します。

- ➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

「CD録音モードを設定する (56P)

- ① • どのソースを聞いている時でも、録音を停止する場合は **[削除字幕]** を押します。
- 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する (56P) の録音モードを **シングル** に設定する

2 CDを再生する

- ➡ 「基本的なCDの聞きかた (26P) を参照してください。

録音中の表示(赤色)



- ① 地図画面の場合、右上に **[R]** が表示されます。 **end**

プレイリストの編集

新規のプレイリストを登録する

新しいプレイリストを登録します。
いろいろな方法で曲を検索して、プレイリストに登録することができます。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 53P

2 **新規プレイリスト登録**を選んで(A.MENU)
を押す
再生中のマーク()



i • プレイリストの種類には、オリジナルプレイリストとユーザープレイリストがあります。

O	オリジナルプレイリスト 録音時に自動的に作成される。 プレイリスト名の頭に Original(オリジナル)のOが表示される
U	ユーザープレイリスト ユーザーが編集を行ったプレイリスト。 プレイリスト名の頭にUse(ユーザー)のUが表示される

- 再生不許可が設定されているプレイリストには、 が表示されます。
「再生しないプレイリストを設定する(64P)」
- プレイリストは、999個まで作成可能です。

3 **新規トラック登録**を選んで(A.MENU)を押す



4 登録したい曲の検索方法を選んで(A.MENU)を押す

- i • 登録する曲の検索方法には以下の種類があります。
- ・プレイリストから探す
 - ・アーティストで探す
 - ・ジャンルで探す
 - ・最近録音した曲から探す
 - ・PCカード内のMP3ファイルは選択できません。

5 登録したい曲のある項目を選んで(A.MENU)を押す

6 登録する曲を選んで(A.MENU)を押し、ランプを点灯状態にする

選択するとランプが点灯する



- i • **トラック全選択**を選んだ場合は、表示されている曲が全て選択されます。ただし、既に全て選択されている場合は、全ての選択を解除します。
- 全て選択する対象が99曲以上ある場合は、先頭から99曲までが選択されます。

つづく >>

7 **(BAND/ESC)** を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する

i 最近録音した曲から探したい場合は、検索方法を選択(手順4)した後、トラック一覧画面(手順6)になります。**end**

プレイリストの情報を編集する

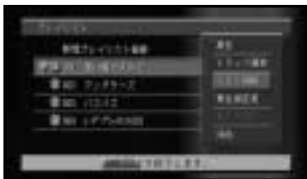
登録されているプレイリストの情報を表示させて編集します。

i PCカード内のMP3ファイルは編集できません。

1 **(A.MENU)** - **ミュージックサーバー** - **(A.MENU)** - **プレイリスト** - **(A.MENU)** を押す 53P

2 情報を編集したいプレイリストを選んで **(A.MENU)** を押す

3 **リスト情報** を選んで **(A.MENU)** を押す

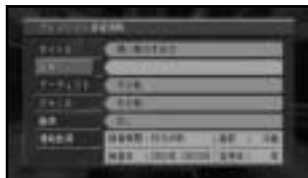


プレイリスト詳細情報画面が表示されます。この後は編集する項目に応じて、それぞれの説明をお読みください。

タイトルやよみを編集する	60P
アーティストを編集する	61P
ジャンルを設定する	61P
画像を設定する	61P

タイトルやよみを編集する
タイトルは表示や検索、よみは音声操作に使用します。ここで編集したタイトルは同じCDのタイトル表示にも反映されます。

4 **タイトル** または **よみ** を選んで **(A.MENU)** を押す



文字入力画面になります。文字を入力して **入力終了** を選ぶとプレイリスト詳細情報画面に戻ります。

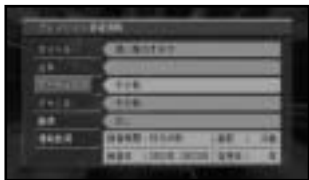
→ 文字の入力方法は『ナビゲーションブック』「文字の入力操作」を参照してください。

- i** **タイトル** は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- よみ** は、ひらがな32文字まで入力できます。

5 **(BAND/ESC)** を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する **end**

アーティストを編集する
アーティストは検索に使用します。

4 **アーティスト** を選んで **(A.MENU)** を押す



手動で入力する場合：**マニュアル入力** を選び **(A.MENU)** を押すと文字入力画面になります。文字を入力して **入力終了** を選ぶとプレイリスト詳細情報画面に戻ります。

② 文字の入力方法は『ナビゲーションブック』、「文字の入力操作」を参照してください。

① **アーティスト** は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

リストから選ぶ場合：**リスト選択** を選び **(A.MENU)** を押すとアーティストリスト画面になります。アーティスト名を選択し **(A.MENU)** を押します。さらに **決定** を選んで **(A.MENU)** を押すとプレイリスト詳細情報画面に戻ります。

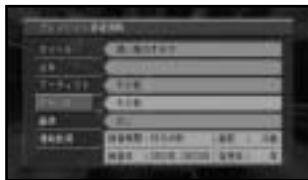
① **履歴から消去** を選んで **(A.MENU)** を押すとリストから消去され、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。ただし、そのアーティスト名で曲が録音されている場合は消去できません。

5 **(BAND/ESC)** を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する

end

ジャンルを設定する
ジャンルは検索に使用します。

4 **ジャンル** を選んで **(A.MENU)** を押す



ジャンルリスト選択画面が表示されます。ジャンルを選んで **(A.MENU)** を押すとプレイリスト詳細情報画面に戻ります。

5 **(BAND/ESC)** を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する **end**

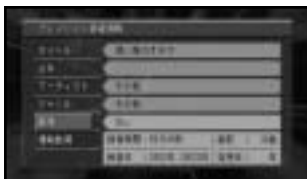
画像を設定する
画像を設定しておく、そのプレイリストが再生されたときオーディオ画面の背景にその画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。また、デジタルカメラなどで撮影した画像を設定することもできます。

- ① デジタルカメラなどで撮影した画像を設定するには、ナビゲーション本体に画像が保存されているPCカードをセットしてください。
- 対応している画像形式は、デジタルカメラの一般のjpeg形式の画像のみです。
- ファイル名は、フォルダ名+ファイル名+.jpg が255byte以内(半角を1文字で1byte、全角を1文字で2byte)のファイルのみがナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。

つづく >>

- ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されない場合があります。その場合は、ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個以内になるように、PCカード内の画像ファイル数を減らしてください。
- PCカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルードディレクトリ含む)まで認識できます。
- プロGRESSIVEJPEG方式は使用できません。
- 画像を解除する場合は、手順5で**画像なし**を選びます。

4 **画像**を選んで(A.MENU)を押す



5 好みの画像を選んで(A.MENU)を押す
画像選択画面が表示されます。



- i** PCカードをセットしている場合は、PCカード内のファイルもリスト上に表示されます。

6 好みの画像表示方法を選んで(A.MENU)を押す
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。



中央



繰り返し



壁紙が決定され、手順4の画面に戻ります。

7 **BAND/ESC**を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する **end**

プレイリストの再生順番を変更する

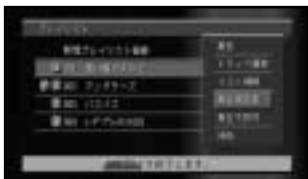
プレイリストを再生する順番を変更します。

- i**
- 通常の再生では、プレイリストの順番に繰り返し再生します。
 - PCカード内のMP3ファイルは変更できません。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 53P

2 順番を変更したいプレイリストを選んで
(A.MENU)を押す

3 再生順変更 を選んで (A.MENU) を押す



4 (▲) (▼) を押して、並び替えたい位置に [挿入位置] を合わせて、(A.MENU) を押す



(▲)	[挿入位置] が上に移動する
(▼)	[挿入位置] が下に移動する

- (i) ● 移動対象のプレイリストは緑色で表示されます。
- 挿入したい位置を選択して (A.MENU) を押すと、プレイリストの画面に戻ります。

5 (BAND/ESC) を押して、[ミュージックサーバー] メニューを解除する **end**

プレイリストを消去する

いらなくなったプレイリストを消去します。

- (i) ● プレイリストの種類により消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータも消去する
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去する。トラックデータは消去しない

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- PCカードの内のMP3ファイルは消去できません。

1 (A.MENU) - ミュージックサーバー - (A.MENU) - プレイリスト - (A.MENU) を押す 53P

2 消去したいプレイリストを選んで (A.MENU) を押す


3 消去 を選んで (A.MENU) を押す



4 (A.MENU) を押す 消去しないときは (BACK) を押します。 **end**

再生しないプレイリストを設定する

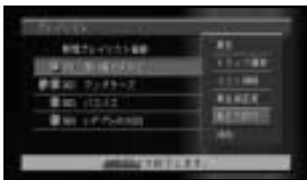
再生しないプレイリスト(再生不許可)を設定することができます。

- ① 通常の再生をした場合、再生不許可に設定したプレイリストは飛ばします。
- プレイリスト一覧では、プレイリストに  が表示されます。


1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 53P

2 再生しないプレイリストを選んで(A.MENU)を押す

3 **再生不許可**を選んで(A.MENU)を押す



再生不許可の設定は、画面で確認できます。


再生不許可の表示()



- ① 再生不許可を再生許可に変更するには、手順1~2で再生不許可に設定したプレイリストを選んだ後、手順3で**再生許可**を選んで(A.MENU)を押します。
- 再生中のプレイリストでは**再生不許可**は選べません。end

プレイリストに曲を追加する

プレイリストに曲を追加します。

曲の追加ができるのは、ユーザープレイリスト(プレイリスト名の頭に  が付いているもの)のみです。

いろいろな方法で曲を検索して、曲を追加することができます。

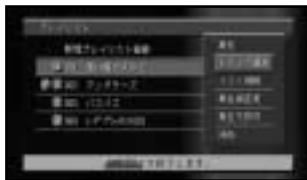
- ① 追加する曲の検索方法には以下の種類があります。

- プレイリストから探す
- アーティストで探す
- ジャンルで探す
- 最近録音した曲から探す

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 53P

2 曲を追加したいユーザープレイリストを選んで(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 **新規トラック登録**を選んで(A.MENU)を押す

5 「新規のプレイリストを登録する(59P)」の手順5以降を参照して操作する end

トラックの情報を編集する

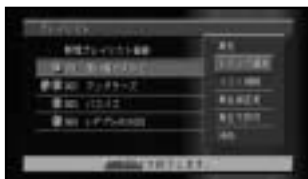
登録されているトラックの情報を表示させて編集します。

- ① PCカード内のMP3ファイルは編集できません。
- PCカード内のMP3ファイルのID3 Tagを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。その場合は、PCカード内からファイルを一度消去して再び保存してください。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 53P

2 編集したいトラックが登録されているプレイリストを選んで、(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 編集したいトラックを選んで(A.MENU)を押す

5 **トラック情報**を選んで(A.MENU)を押す



トラック詳細情報画面が表示されます。この後の操作は「プレイリストの情報を編集する」と同様の流れとなります。編集する項目に応じて、それぞれの説明をお読みください。

タイトルやよみを編集する	60P
アーティストを編集する	61P
ジャンルを設定する	61P

end

曲の再生順番を変更する

プレイリスト内の曲の順番を変更することができます。曲順の変更をできるのはユーザープレイリスト(プレイリスト名の頭にUが付いているもの)のみです。

①→ プレイリストの順番を変更することもできます。

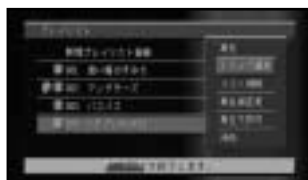
「プレイリストの再生順番を変更する」(62P)

① PCカード内のMP3ファイルは変更できません。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 53P

2 順番を変更したい曲が登録されているプレイリストを選んで、(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 順番を変更したい曲を選んで(A.MENU)を押す

5 **再生順変更**を選んで(A.MENU)を押す



つづく >>

- 6 ▲▼を押して、並び替えたい位置に [挿入位置] を合わせて、(A.MENU)を押す



▲	[挿入位置] が上に移動する
▼	[挿入位置] が下に移動する

- i • 移動対象のトラックは、緑色で表示されています。
 • 挿入したい位置を選んで (A.MENU) を押すと、トラックリストの画面に戻ります。

- 7 (BAND/ESC) を押して、[ミュージックサーバー]メニューを解除する *end*

曲を消去する

いらなくなった曲を消去します。

- ➡ プレイリストごと消去することもできます。

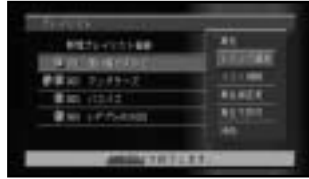
「プレイリストを消去する (63P)」

- i • オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
 • PCカード内のMP3ファイルは消去できません。

- 1 (A.MENU) - ミュージックサーバー - (A.MENU)
 - プレイリスト - (A.MENU) を押す 53P

- 2 消去したい曲が登録されているプレイリストを選んで、(A.MENU)を押す

- 3 **トラック選択** を選んで (A.MENU) を押す



- 4 消去したいトラックを選んで (A.MENU) を押す

- 5 **消去** を選んで (A.MENU) を押す



- 6 (A.MENU) を押す
 消去しないときは (BACK) を押します。 *end*

タイトル情報を取得する

CDから録音されたプレイリストのタイトル情報を、本機内蔵またはインターネットの Gracenote CDDbのデータベース¹から取得することができます(タイトルサーチ)。
 タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

- i** • 以下の情報を取得することができます。CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。
- アルバムタイトル
 - アルバムタイトルのよみ
 - アルバムのアーティスト
 - アルバムのジャンル
 - アルバムの発売年
 - トラックタイトル
 - トラックタイトルのよみ
 - トラックのアーティスト
 - トラックのジャンル
- タイトル情報の取得は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。
- 通信で探すときに携帯電話が接続されていないと、[携帯の接続を確認してください。]のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信で探すときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、[携帯電話が使用中です。]のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。

1Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD-related data from Gracenote CDDB®, copyright 1999, 2000 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software, copyright 1999, 2000 CDDB, Inc. U.S.特許番号 No.5,987,525; No.6,061,680; No.6,154,773他、特許発

行済み/申請中。

CDDBはGracenoteの登録商標です。CDDB, the Gracenote logo, Gracenote CDDB Logo, Meta-Database、そして the Gracenote Logoは、Gracenoteの登録商標です。音楽認識技術とMRSは、Gracenoteのサービス商標です。音楽認識技術とMeta-Database™は、GracenoteとThe Gracenote CDDB® Music Recognition Serviceが提供しています。Gracenoteは、音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。更に詳しい情報は、以下のWWWサイトにてご確認いただけます。
http://www.gracenote.com



1 (A.MENU) - ミュージックサーバー - (A.MENU)
- プレイリスト - (A.MENU)を押す 53P

2 情報を取得したいプレイリストを選んで (A.MENU)を押す



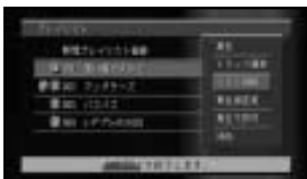
つづく >>

Gracenote CDDBはパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、インターネットのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。

Gracenote CDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。

本商品を利用してのGracenote CDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2004年3月までご利用できます。

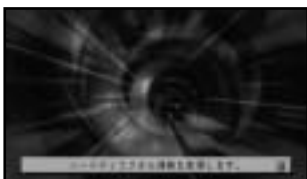
3 リスト情報を選んで(A.MENU)を押す



i 通信で情報の取得を行った場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報取得を失敗することがあります。失敗すると「情報の取得に失敗しました。」とメッセージが表示されず、(A.MENU)で再取得できます。 **end**

4 情報取得を選んで(A.MENU)を押す

情報取得は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。



ハードディスクから探す	本機内蔵のハードディスクに収納されているデータベースから情報を取得する
通信で探す	携帯電話を使った通信により、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得する

5 登録したいタイトルを選んで(A.MENU)を押す

該当タイトルなしを選ぶと、タイトルは登録されません。[プレイリスト詳細情報]画面から**タイトル**を選んで、好みのタイトルを入力してください。

「プレイリストの情報を編集する(60P)」

映像を調整する

ディスプレイ設定を変更する

マルチ画面やピクチャーサイドピクチャーなど、画面の分割表示に関する設定を変更することができます。

1 各ソース画面で **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー] が表示されます。

2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

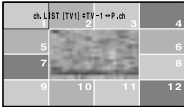


3 **ディスプレイ設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

4 **(▲▼)** を押して、変更する項目にカーソルを合わせる

PinPの現在の設定内容で子画面 (灰色) を表示します。



[マルチ設定]	
チャンネルリストの表示方法の設定です。	
設定値	<p>TV+NAVI (初期値)</p> <p>中央にナビゲーション画面、周りにテレビのマルチ画面が表示されます。</p>  <p>(ナビゲーション画面は操作前の表示になります。)</p>

設定値	TV	テレビのマルチ画面が表示されません。
	OFF	マルチ画面は表示されず、リストで表示されます。
[PsideP設定]		
画面を左右2分割して表示できるように設定します。		
設定値	ON (初期値)	ピクチャーサイドピクチャー表示をします。
	OFF	ピクチャーサイドピクチャー表示をしません。
[PinP設定]		
ナビゲーション画面の中に子画面を表示できるように設定します。(ナビゲーション画面は子画面にできません。)		
設定値	ON (初期値)	ピクチャーインピクチャー表示をします。
	OFF	ピクチャーインピクチャー表示をしません。
[PinPサイズ設定]		
[PinP設定] が ON のとき、映像 (DVD、ビデオ、テレビ) の子画面の大きさを設定できます。音声のみのソース (CD、ミュージックサーバーなど) は1/9固定です。		
設定値	1/4	1/4の大きさで表示します。
	1/9 (初期値)	1/9の大きさで表示します。
	1/16	1/16の大きさで表示します。

つづく >>

[PinPポジション設定]		
[PinP設定] が ON のとき、子画面を表示する位置を設定できます。		
設定値	右上 (初期値)	右上に表示します。
	右下	右下に表示します。
	左下	左下に表示します。
	左上	左上に表示します。

5 ◀▶ を押して、設定を変更する

6 (BAND/ESC) を押して、[オーディオメニュー] を解除する **end**

画質の調整をする

黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗(コントラスト)を変更することができます。

- ① 外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき(昼間☀黄)と、周囲が暗いとき(夜間🌙青)の調整内容を別々に設定することができます。
- 周囲の明るさの変化にともない、この設定が自動的に切り替わります。
- ナビゲーション、テレビ、ビデオ、DVDなどの映像で別々に設定内容を記憶します。
- バックカメラはVTR1として記憶します。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。
- マルチ画面の画質は、テレビの設定が反映されます。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **(W)** をしばらく押し続ける
[画質調整] メニューが表示されます。

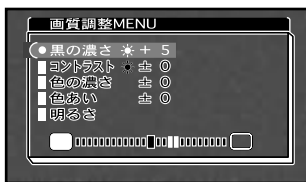
① 約30秒間何も操作しないと自動的に [画質調整] メニューは解除されます。

2 **黒の濃さ** または **コントラスト** を選ぶ



▲	上の項目を選ぶとき
▼	下の項目を選ぶとき

3 ◀▶ を押して、設定を調整する



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感じし、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

🌙 (青) : 暗いとき (夜間)
☀ (黄) : 明るいとき (昼間)

ボタン	黒の濃さ	コントラスト
◀	薄くなる	白黒の差が小さくなる (暗くなる)
▶	濃くなる	白黒の差が大きくなる (明るくなる)

① - 24 ~ + 24の範囲で設定が可能です。

4 (BAND/ESC) を押して、[画質調整] メニューを解除する **end**

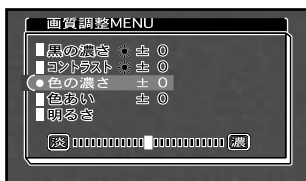
色の濃さや色あいを調整する

お好みに合わせて、映像の色の濃さ、色あいを変更することができます。

- i**
- テレビ、ビデオ、DVDなどの映像で別々に設定内容を記憶します。
 - バックカメラはVTR1として記憶します。
 - ナビゲーションの映像では、調整できません。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **(W)** をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

2 色の濃さ または 色あいを 選ぶ



(▲)	上の項目を選ぶとき
(▼)	下の項目を選ぶとき

3 **(◀▶)** を押して、設定を調整する



ボタン	色の濃さ	色あい
(◀)	薄くなる	赤が強くなる
(▶)	濃くなる	緑が強くなる

i -24 ~ +24の範囲で設定が可能です。

4 **(BAND/ESC)** を押して、[画質調整メニュー]を解除する **end**

液晶画面の明るさを調整する

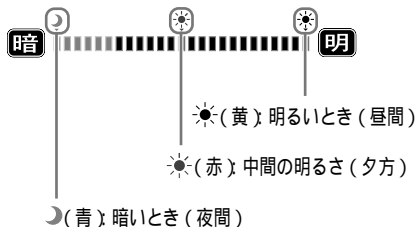
夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します(3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **(W)** をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

2 **(▼)** を押して、**明るさ** を選ぶ



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ(外光レベル)をマークの色、形、および位置で表示します。



- i**
- 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
 - 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

3 ◀▶を押して、明るさを調整する

◀	画面を暗くするとき
▶	画面を明るくするとき



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき(☾)の画面の明るさの設定を調整しています。

- ① ●現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い(☾青) 中間(☀赤) 明るい(☀黄) それぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

4 BAND/ESC を押して、[画質調整メニュー]を解除する

① **明るさ** の設定内容は、[画質調整]メニューが解除されるときに記憶されます。

明るさ を調整後、車のエンジンを切ったり電源をOFFしたりするときは、[画質調整]メニューを解除してから行ってください。end

画質の調整をする / 画面を切り替える

画面を切り替える

2画面表示させる

[PsideP]、[PinP] の設定が **ON** のとき、画面を2分割したり、ナビゲーション画面の中に子画像を表示して、ソース画面(テレビ、ビデオ、DVD、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバー)とナビゲーション画面を同時に表示することができます。

1 DDM を押す

DDM を押すごとに以下のようにモードが切り替わります。

1画面



ピクチャーサイドピクチャー



ピクチャーインピクチャー



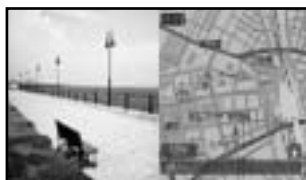
- ① 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- ナビゲーション画面から **DDM** を押すと、現在選ばれているソースとの2画面表示になります。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面の映像は、選ばれているワイドモードに関係なく、常に4:3で表示されます。
- ピクチャーインピクチャーの子画面の位置や大きさは変更できます。
「ディスプレイ設定を変更する」(69P)
- ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーサイドピクチャーまたはピクチャーインピクチャー表示中に **N/A** を押すと、ナビゲーション画面になります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。

end

2画面表示の左右を入れ替える

ピクチャーサイドピクチャーのときは、左右の画面を入れ替えることができます。

- 1 ピクチャーサイドピクチャーのとき **DDM** を長めに押す
DDM を押すごとに、左右の画面が入れ替わります。



end

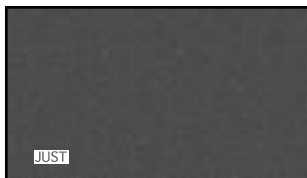
ワイド画面の拡大方法を切り替える

通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

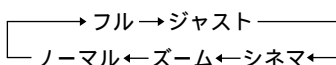
- ① • 通常映像は縦横比4 : 3、ワイド映像は縦横比16 : 9です。
- テレビ、ビデオ、DVD映像で設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションやソースの壁紙の映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 テレビ、ビデオ、DVDのいずれかの映像画面を1画面で表示させる

2 TVモニターの **W** を押して、ワイドモードを切り替える

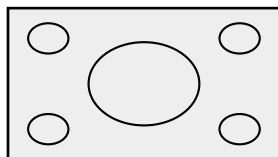


W を押すごとに、以下のようにワイドモードが切り替わります。



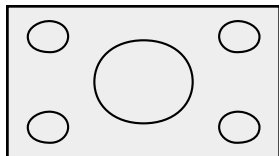
- ① • 1画面表示のときに、設定したワイドモードの映像になります。
2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。
- [オーディオメニュー] を表示しているときは、常に「フル」になります。
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。 *end*

ワイドモードの種類



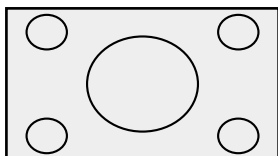
フル

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



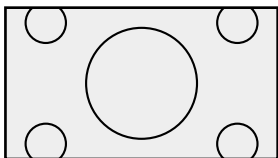
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



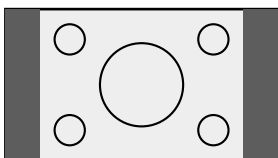
シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。




ノーマル

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 TVモニターの を押す

もう一度  を押すと、画面を表示します。



end

音の調整をする

お好みに合わせてオーディオの音を調整することができます。

音量を調整する

お好みの音量に調整することができます。

- 1 ソースの画面で **(VOLUME)** を押して、音量を調整する



+	音量を大きくするとき
-	音量を小さくするとき

- ① 0～30の範囲で調整が可能です。
- ボリューム調整画面は、4秒間表示されます。 **end**

音声案内がよく聞こえるようにする

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞きとりやすくすることができます。

- ① 初期値は、**ATT** に設定されています。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示されません。

- 1 各ソースで **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

- 2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

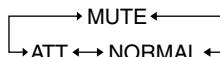


- 3 **消音レベル設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

- 4 **(◀▶)** を押して、好みの設定を選ぶ



(◀▶) を押すごとに、以下のように切り替わります。



ATT	音量が約 $1/10$ に小さくなる
NORMAL	音声は変わらない
MUTE	音声がかえなくなる

- ② ナビゲーションのオーディオミュート設定をしたときに、ここで設定した消音レベルが適用されます。『ナビゲーションブック』を参照してください。

- ① [オーディオメニュー] の設定中に、音声案内の割り込みがあった場合は、オーディオの音量は、変わりません。
- [オーディオメニュー] の設定中に、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合は、[オーディオメニュー] を終了して、それぞれの操作になります。

- 5 **(BAND/ESC)** を押して、[オーディオメニュー] を解除する **end**

音量を調整する / 音声案内がよく聞こえるようにする

内蔵スピーカーの音声をON/OFFする

車内の会話が聞きとりにくい場合などに、一時的に音を消すことができます。

1 VOLUMEツマミを押す

VOLUMEツマミを押すごとに、ソース音声がON/OFFします。



⚠ 音声OFF中にボリューム調整しないでください。音声をONにしたときに、大音量が出力される恐れがあり危険です。

- ⓘ 出力されているソースの音声がOFFになります。
- VOLUMEツマミを押してもナビゲーションの音声案内は消えません。 *end*

音声をFM付きカーステレオで聞く

テレビ、ビデオ、DVD、CDなどソースで選ばれている音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーで聞くことができます。

- ⓘ 初期値は、**OFF**に設定されています。
- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- ナビゲーションの音声案内中は、[オーディオメニュー]は表示されません。

1 (A.MENU)を押す

2 システム設定を選んで(A.MENU)を押す



3 FMトランスミッター設定を選んで(A.MENU)を押す

4 [FMトランスミッター]の項目で、(▶)を押してONにする



OFFにするには(◀)を押します。

5 (▼)を押して、[周波数]の項目にカーソルを合わせる

6 (◀▶)を押して、出力させたい周波数を選ぶ



周波数は、76.4~78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。

(◀)	周波数を下げるとき
(▶)	周波数を上げるとき

7 (BAND/ESC)を押して、[オーディオメニュー]を解除する

8 カーステレオのソースをFMに切り替えて、手順6で選んだ周波数を受信する本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

- i** 送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ず**OFF**にしてください。**end**

FMトランスミッターのレベルを調整する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていて、普通のFM放送と音量が違っていると感じた場合は、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

- i** ナビゲーションの音声案内中は、[オーディオメニュー]は表示されません。

1 **(A.MENU)** - **システム設定** - **(A.MENU)** - **FMトランスミッター設定** - **(A.MENU)** を押す
78P



2 **(V)** を押して、[レベル]を選ぶ

3 **(◀▶)** を押して、レベルを調整する



(◀)	レベルを下げるとき
(▶)	レベルを上げるとき

- i**
 - 最大 -6 ~ +6 の範囲で調整できます。
 - FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを上げてください。
 - 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを下げてください。

4 **(BAND/ESC)** を押して、[オーディオメニュー]を解除する **end**

その他の機能と付録

音声で操作できる機能

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、おもな機能を操作することができます。

DVD/CD/MP3 ディスク	ソースの切り替え トラックアップ/ダウン フォルダーアップ/ダウン チャプターアップ/ダウン トラック番号指定 (MP3ディスク)
ミュージック サーバー	ソースの切り替え プレイリストアップ/ダウン トラックアップ/ダウン プレイリスト名指定 トラック名指定 トラック番号指定
テレビ・ビデオ	ソースの切り替え チャンネル切り替え

- ① • トラック名指定は、再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。
- PCカード内のMP3ファイルは、プレイリスト名指定/トラック名指定は行えません。
- ➡ 詳しくは、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

バックカメラを組み合わせる

市販のバックカメラを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーをリバースの位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

- ⚠ シフトレバーをリバースの位置にしたときにバックカメラ以外の映像が表示されると危険ですので、バックカメラを接続していないときは、VTR1を **Back Camera** の設定にしないでください。

- ① • バックカメラの映像は、本機のRCAビデオ入力(VTR1)へ接続してください。詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの接続のしかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- ナビゲーションの3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していない場合は、バックカメラには切り替わりません。
- ナビゲーションの起動中は、バックカメラに切り替らない時があります。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの映像はワイドモードに関係なく常にフルで表示されます。
- バックカメラの映像の画質調整値はVTR1として記憶されます。(昼と夜で別々の設定ができます。)

1 各ソース画面で **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー] が表示されます。

2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す



3 **AV 入力設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

4 **(▲▼)** を押して、**VTR1** にカーソルを合わせる



5 **(◀▶)** を押して、**Back Camera** にする

6 BAND/ESC を押して、[オーディオメニュー]を解除する end

バックカメラの映像を解除するシフトレバーをリバースの位置にし、後方の映像を表示させているとき、後方の映像を解除することができます。

1 [N/A]を押す

- ① バックカメラの映像を [N/A] で解除した後、再び表示させるには、一度シフトレバーのリバースを解除してから再びリバース位置にしてください。
- ナビゲーション起動時は解除できません。 end

リアモニターを組み合わせる

RCAリアモニター出力端子に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

➡ 接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。
- AVIC-XH77は[N/A]でソースとナビゲーションの映像を切り替えることができます。
- リアモニターを2画面表示に切り替えることはできません。
- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニューは表示されません。
- リアモニターは、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやビデオ、DVDなどの映像を見ることができます。
- DVDビデオを選択している場合のみ、DVD画面専用の情報表示を見ることができます。

⚠ リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

① 映像を出力するために使われる信号形式には、RGBとコンポジット信号の2通りがあります。

コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、通常RGB信号を使用しています。(コンポジット信号よりも鮮明に映像を表示できます。)

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲：-10度～+50度

保存温度範囲：-20度～+80度

直射日光の当たった状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。

TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面には触らないでください。



バックカメラを組み合わせる / リアモニターを組み合わせる / TVモニターの正しい使いかた

液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)がでることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は、消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。

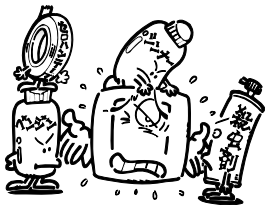
蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

本機はMP3ファイルのCD-ROM(モード1のみ)またはCD-R/RWディスク、PCカードを再生することができます。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

- ① MP3ファイルに名前をつけるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- ファイル名は、フォルダ名+ファイル名+.mp3が255byte以内(半角を1文字で1byte、全角を1文字で2byte)にしてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

ID3 TagのVer1.0およびVer.1.1、Ver.2.Xのalbum(ディスクタイトルとして表示)、track(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。PCカード内のMP3ファイルでは、ジャンル、発売日の表示にも対応しています。

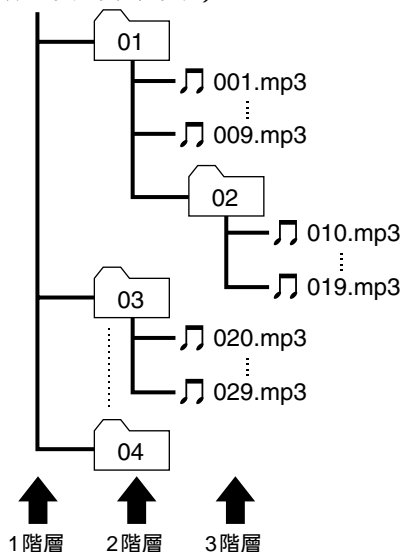
44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。)

一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクおよびPCカードの使用を推奨します。

フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルを収録したCD-ROMのイメージは下図のようになります。

(ルートディレクトリ)



- MP3ファイルは上記イメージのように連番となります。
- Mixed Mode CDのデータトラックは、再生経過時間を表示しますが、音声は出力されません。音楽トラックのみ再生します。

- MP3ファイルを含まないフォルダは、認識しません。
- 8階層(ルートディレクトリ含む)までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスク、PCカードは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時およびPCカード保存時には、階層を2つ以下にすることをすすめます。
- ディスクに含まれるフォルダの合計は256個まで、MP3ファイルは400個まで再生できます。PCカードはMP3ファイル99個まで再生できます。
- マルチセッション対応で記録したディスクは、最初のセッションのみ再生することができます。
- バケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3(MP3 interactive)、mp3 PROフォーマットには対応していません。
- VBR(可変ビットレート)のMP3ファイルには対応していません。
- PCカード内のMP3ファイルは、フォルダ分けしても表示されません。

言語コード表

言語コード表

言語名(言語コード)	入カコード
日本語(ja)	1001
英語(en)	0514
フランス語(fr)	0618
スペイン語(es)	0519
ドイツ語(de)	0405
イタリア語(it)	0920
中国語(zh)	2608
オランダ語(nl)	1412
ポルトガル語(pt)	1620
スウェーデン語(sv)	1922
ロシア語(ru)	1821
韓国語(ko)	1115
ギリシャ語(el)	0512
アファル語(aa)	0101
アブバジア語(ab)	0102
アフリカーンス語(af)	0106
アムハラ語(am)	0113
アラビア語(ar)	0118
アッサム語(as)	0119
アイマラ語(ay)	0125
アゼルバイジャン語(az)	0126
バシキール語(ba)	0201
ベラルーシ語(be)	0205
ブルガリア語(bg)	0207
ビハーリー語(bh)	0208
ビスラマ語(bi)	0209
ベンガル語(bn)	0214
チベット語(bo)	0215
ブルトン語(br)	0218
カタロニア語(ca)	0301
コルシカ語(co)	0315
チェコ語(cs)	0319
ウェールズ語(cy)	0325
デンマーク語(da)	0401
ブータン語(dz)	0426
エスペラント語(eo)	0515
エストニア語(et)	0520
バスク語(eu)	0521
ベルシア語(fa)	0601
フィンランド語(fi)	0609
フィジー語(fj)	0610
フェロー語(fo)	0615
フリジア語(fy)	0625
アイルランド語(ga)	0701
スコットランドゲール語(gd)	0704
ガルシア語(gl)	0712
グアラニ語(gn)	0714

言語名(言語コード)	入カコード
グジャラート語(gu)	0721
ハウサ語(ha)	0801
ヒンディー語(hi)	0809
クロアチア語(hr)	0818
ハンガリー語(hu)	0821
アルメニア語(hy)	0825
国際語(ia)	0901
interlingue(ie)	0905
イヌビアク語(ik)	0911
インドネシア語(in)	0914
アイスランド語(is)	0919
ヘブライ語(iw)	0923
イディッシュ語(ji)	1009
ジャワ語(jw)	1023
グルジア語(ka)	1101
カザフ語(kk)	1111
グリーンランド語(kl)	1112
カンボジア語(km)	1113
カナダ語(kn)	1114
カシミール語(ks)	1119
クルド語(ku)	1121
キルギス語(ky)	1125
ラテン語(la)	1201
リンガラ語(ln)	1214
ラオス語(lo)	1215
リトアニア語(lt)	1220
ラトビア語(lv)	1222
マダガスカル語(mg)	1307
マオリ語(mi)	1309
マケドニア語(mk)	1311
マラヤーラム語(ml)	1312
モンゴル語(mn)	1314
モルダビア語(mo)	1315
マラータ語(mr)	1318
マライ語(ms)	1319
マルタ語(mt)	1320
ビルマ語(my)	1325
ナウル語(na)	1401
ネパール語(ne)	1405
ノルウェー語(no)	1415
プロバンス語(oc)	1503
オロモ語(om)	1513
オリヤー語(or)	1518
パンジャブ語(pa)	1601
ポーランド語(pl)	1612
アフガニスタン語(ps)	1619
ケチュア語(qu)	1721

言語名(言語コード)	入カコード
レートロマン語(rm)	1813
キルンディ語(rn)	1814
ローマ語(ro)	1815
キニヤルワンダ語(rw)	1823
サンスクリット語(sa)	1901
シンド語(sd)	1904
サンド語(sg)	1907
サルボアクロアチア語(sh)	1908
セイロン語(si)	1909
スロバック語(sk)	1911
スロベニア語(sl)	1912
サモア語(sm)	1913
ショナ語(sn)	1914
ソマリ語(so)	1915
アルバニア語(sq)	1917
セルビア語(sr)	1918
シスワティ語(ss)	1919
セストゥ語(st)	1920
スندگان語(su)	1921
スワヒリ語(sw)	1923
タミル語(ta)	2001
テルグ語(te)	2005
タジク語(tg)	2007
タイ語(th)	2008
チグリス語(ti)	2009
トルキ語(tk)	2011
タガログ語(tl)	2012
セツワナ語(tn)	2014
トンガ語(to)	2015
トルコ語(tr)	2018
ツォンガ語(ts)	2019
タタール語(tt)	2020
トウイ語(tw)	2023
ウクライナ語(uk)	2111
ウルドゥー語(ur)	2118
ウズベク語(uz)	2126
ベトナム語(vi)	2209
ボラビュク語(vo)	2215
ウォルフ語(wo)	2315
コーサ語(xh)	2408
ユルバ語(yo)	2515
ズールー語(zu)	2621

DVD用語の解説

テレビアスペクト

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4:3、ワイドモニター16:9の比率です。

視聴制限(パレンタルロック)

暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります(最大8言語)。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、“2”です。

MP3用語の解説

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいくほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きいく方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追記ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめでした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3タグ編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1:

ファイル名は、8.3形式(名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2:

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)で、各フォルダの階層は8つ以下
拡張フォーマット

Joliet:

ファイル名は、最大で64文字

Romeo:

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3(エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR(ヴイビーアール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
『スタートブック』、
「リセットのしかた」

それでも直らないときは

『スタートブック』、「お客様登録とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 『スタートブック』、「リセットのしかた」
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作しない。	電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。『スタートブック』、「リモコンを使う前」
	リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。『スタートブック』、「リモコンの使いかたを覚える」
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。『スタートブック』、「リモコンの使いかたを覚える」
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 『スタートブック』、「リモコンを使う前に」
	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り替えてください。 『スタートブック』、「リモコンの使いかたを覚える」
	リモコン設定スイッチが間違っている	リモコン設定スイッチを正しく切り替えてください。『スタートブック』、「リモコンを使う前に」

故障かな？と思ったら

共通項目(つづき)

症 状	原 因	処 置
再生できない。	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスクの種類」(13P)
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
音が出ない。	接続が間違っている。	接続を確認してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	接続した機器の音量を下げている。	接続した機器の音量を上げてください。
	アッテネータがONになっている。	アッテネータを解除してください。
音や映像がとぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。 『取付説明書』
TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。	TVモニターの映像が、ナビゲーションに切り替わっていない。	TVモニターの映像をナビゲーションに切り替えてください。 「映像の切り替えかた」(16P)
内蔵スピーカーの音が出ない。	内蔵スピーカーがOFFに設定されている。 リモコンのVOLUMEツマミを押している。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。 「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(78P)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定がOFFになっている。	設定を切り替えてください。 「音声をFM付きカーステレオで聞く」(78P)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。 『FM付きカーステレオの説明書』

故障かな？と思ったら

モニター

症 状	原 因	処 置
画質調整ができない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
映像が明るい。 映像が暗い。	黒の濃さ の調整が適切でない。	黒の濃さ を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」 (70P)
	コントラスト の調整が適切でない。	コントラスト を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」 (70P)
液晶画面が暗い。	明るさ の調整が適切でない。	明るさ を調整してください。 「液晶画面の明るさを調整する」(71P)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さ または 色あい の調整が適切でない。	色の濃さ または 色あい を調整してください。 「色の濃さや色あいを調整する」(71P)
映像の色あいがおかしい。		
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—

故障かな？と思ったら

DVD(AVIC-XH99のみ)

症 状	原 因	処 置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[N/A] で画面を切り替えてください。
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルの変更をしてください。 「レベルを変更する」(49P)

DVD(AVIC-XH99のみ)(つづき)

症 状	原 因	処 置
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 「レベルを変更する」(49P)
	暗証番号を忘れてしまった。	(リセット) を10回押し、暗証番号を解除します。 「暗証番号を忘れたときは」(49P)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
(禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	(自宅) を押してから、もう一度再生してください。

故障かな？と思ったら

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”と いう雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「基本的なテレビの見かた(18P)」
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「基本的なテレビの見かた(18P)」
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、 雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブル を束ねたり、重ねたりし ている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ 離してください。 『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「基本的なテレビの見かた(18P)」

CD/MP3ディスク

症 状	原 因	処 置
CD再生中に、大きな雑音 が出る。 CDの再生が途中で止ま る。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。それで良 くなれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	CDにくもりや水滴がつい ている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。
	CDの裏表を逆にしてセッ トしている。	CDのタイトル面を上にしてセットして ください。

MP3ファイル

症 状	原 因	処 置
CD-Rや CD-RW、CD- ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズ されていない。	ディスクをファイナライズしてくださ い。
MP3ファイルを再生でき ない。	MP3ファイルに「.mp3」の 拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けた ディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベ ル2に準拠して記録されて いない。	ISO9660のレベル1、レベル2に準拠し て記録したディスクに交換してくださ い。

故障かな?と思つたら

MP3ファイル(つづき)

症 状	原 因	処 置
MP3ファイルを再生できない。	CD-ROMのモードがモード1以外になっている。	CD-ROMモード1のディスクに交換してください。
	128kbpsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが128kbps以下で記録されたMP3ファイルにしてください。
MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聞きたいMP3ファイルが見つからない。	マルチセッションで記録したディスクを再生している。	本機は、マルチセッションに対応しておりません。(マルチセッションで記録した場合、最初のセッションのみ再生します。)
	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

故障かな？と思ったら

ミュージックサーバー

症 状	原 因	処 置
プレイリストが再生できない。	プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 「再生しないプレイリストを設定する」(64P)
	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 「再生を一時停止する」(56P)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 「CD録音の制限について」(57P)
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 『スタートブック』、「リセットのしかた」
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 『取付説明書』

DVD(AVIC-XH99のみ)/CD/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスクの種類」(13P)
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスクの種類」(13P)

こんなメッセージが表示されたら

DVD(AVIC-XH99のみ)/CD/MP3ディスク(つづき)

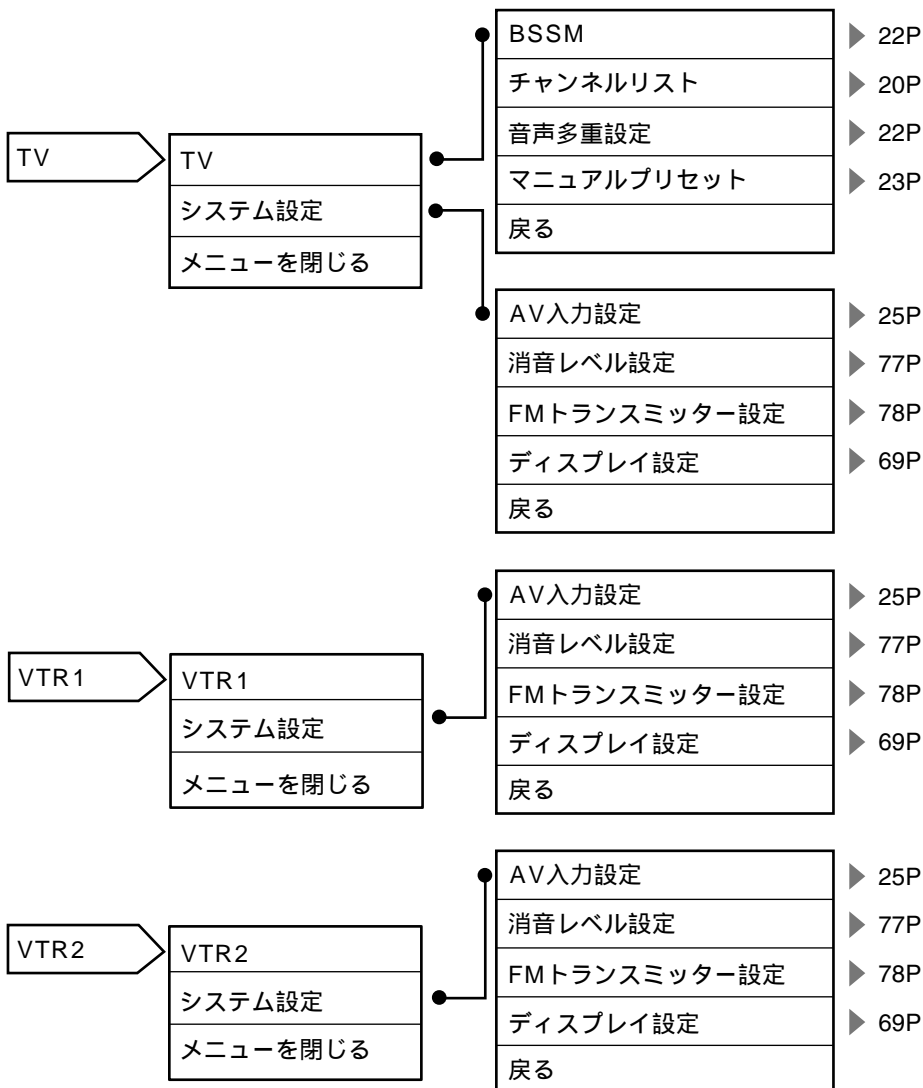
メッセージ(エラー番号)	原因	処置
高温、または低温のため、DVD(CD)が再生できません。 ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 『取付説明書』

ミュージックサーバー

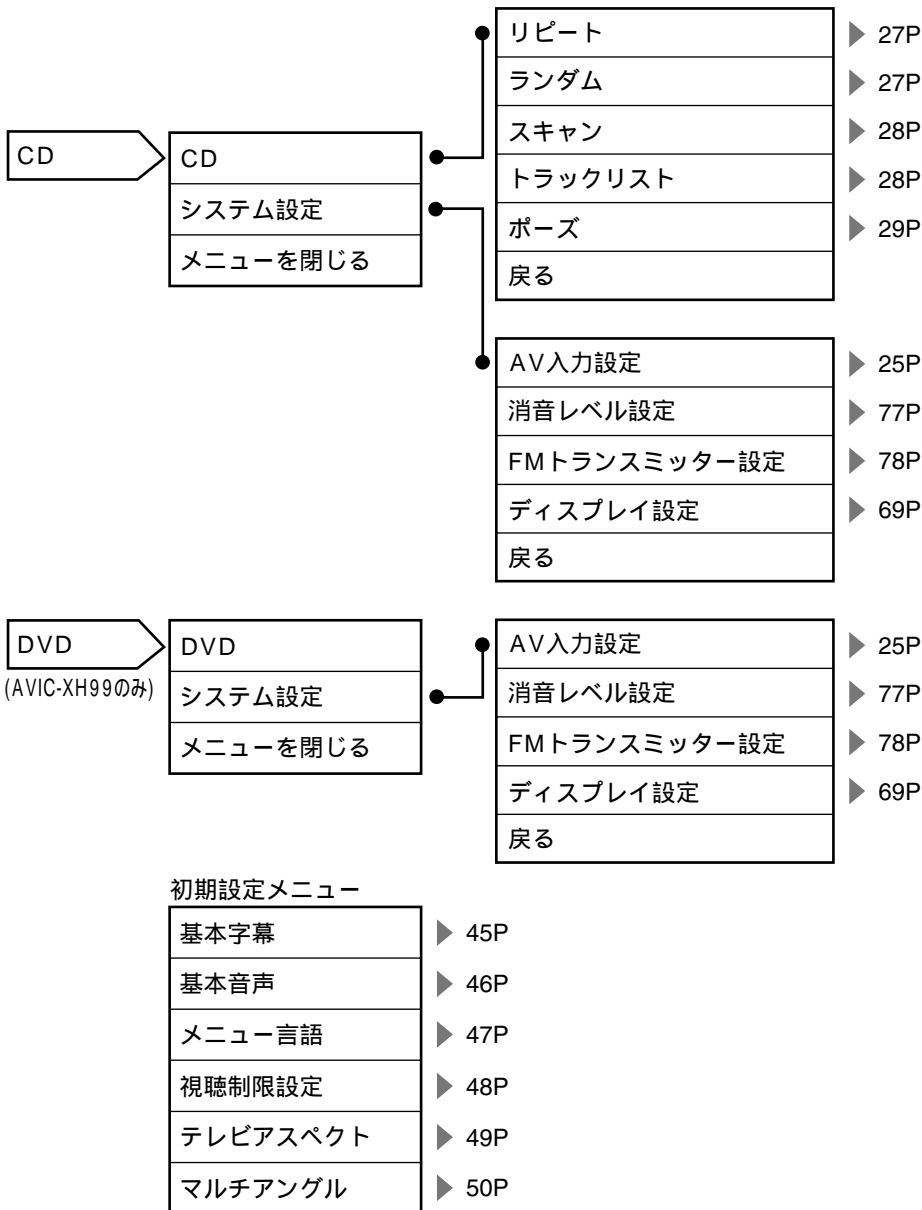
メッセージ	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 「プレイリストを消去する」(63P)、 「曲を消去する」(66P)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

索引

メニュー索引



メニューを開くことはできません。



このメニューを開くことはできません。
DVDの機能は、リモコンで操作してください。

MP3	MP3	リピート	▶ 31P	
	システム設定	ランダム	▶ 32P	
ミュージック サーバー	MP3	スキャン	▶ 33P	
		トラックリスト	▶ 33P	
		ポーズ	▶ 34P	
	ミュージックサーバー	メニューを閉じる	戻る	
		AV入力設定	AV入力設定	▶ 25P
			消音レベル設定	▶ 77P
			FMトランスミッター設定	▶ 78P
			ディスプレイ設定	▶ 69P
	戻る			
	ミュージック サーバー	ミュージックサーバー	プレイリスト	▶ 52P
リピート			▶ 53P	
ランダム			▶ 54P	
ミュージックサーバー		システム設定	スキャン	▶ 55P
		メニューを閉じる	ポーズ	▶ 56P
		AV入力設定	録音設定	▶ 56P
			AV入力設定	▶ 25P
			消音レベル設定	▶ 77P
ミュージックサーバー		FMトランスミッター設定	▶ 78P	
		ディスプレイ設定	▶ 69P	
	戻る			

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	71
アシスト字幕	45
アングル	40
アングル選択マーク	50
暗証番号	48
色あい	71
色の濃さ	71
エリアプリセットチャンネル	19
オート	57、58
オリジナルプレイリスト	51、59
音声言語	39、46
音声多重放送	22

か行

画像	61
基本音声	46
基本字幕	45
禁止マーク	14
黒の濃さ	70
言語コード表	84
コマ送り	39
コンディションメモリー	40
コントラスト	70

さ行

再生(不許可)	64
視聴制限	48、85
自動選局	18
シネマ	75
字幕言語	40
ジャスト	75
主音声	22
手動選局	18
消音レベル設定	77
消去	63、66
情報画面	41
情報取得	68
初期設定メニュー	44
新規トラック登録	64
新規プレイリスト登録	59
シングル	57、58
スキャン再生	28、33、55

ズーム	75
スロー再生	39
静止画再生	38
ソース	17
ソースプレート	17

た行

タイトル	15、85
タイトルサーチ	66
タイムサーチ	42
ダイレクトサーチ	37
チャプター	15、85
ディスプレイ設定	69
テレビ	18、91
テレビアスペクト	49、85
トラック	15、65
トラックタイトルリスト	26、30、51
トラックリスト	28、33

な行

ノーマル	75
------	----

は行

パケットライト	83、86
バックカメラ	80
早送り	26、30、37、51
早戻し	26、30、38、51
パレンタルロック	48、85
パンスキャン	50
バンド	18
ピクチャーインピクチャー	72
ピクチャーサイドピクチャー	72
ビットレート	83、86
フォルダ	83
副音声	22
プリセットチューニング	19
フル	75
プレイリスト	52
プレイリスト画像リンク	61
ポーズ	29、34、56

ま行

マニュアル	57、58
マニュアルプリセット	23
マルチアングル	40、85
マルチ音声	39、85
マルチ画面	20、23

- マルチ言語字幕 45
 マルチ字幕 40、85
 マルチセッション 83、86
 ミュージックサーバー 51、92、94
 メニュー言語 47
 モニター 81、89
- や行**
 ユーザープレイリスト 51、59
- ら行**
 ランダム再生 27、32、54
 リアモニター 81
 リージョン番号 14、85
 リスト画面 21、24
 リスト情報 60
 リピート再生 27、31、43、53
 リピート範囲 43
 レターボックス 50
 録音 56
 録音設定 56
 録音モード 57
- わ行**
 ワイド映像 74
- 数字・アルファベット順**
- 数字**
 2画面表示 72
- A**
 AV入力設定 25
- B**
 BSSM 22
- D**
 DVD 35、89、93
- F**
 FMトランスミッター 78
 FOLDER RANDOM 32
 FOLDER REPEAT 31
 FOLDER SCAN 33
- I**
 ID3 Tag 30、34、52、65、82、86
 ISO 9660フォーマット 82、86
- J**
 jpeg形式 61
- M**
 m3u 83、86
 MP3 30、82、86
 MP3 ディスク 30、91、93
 MP3 ファイル 30、51、82、91
- O**
 OFF 17、25、27、28、29、
 31、32、33、34、53、
 54、55、56、69、78、
 79
- P**
 PC カード 51、61、82
 PinP サイズ設定 69
 PinP 設定 69
 PinP ポジション設定 70
 PLAYLIST RANDOM 54
 PLAYLIST REPEAT 53
 PLAYLIST SCAN 55
 PsideP 設定 69
- R**
 RANDOM 32、54
 REPEAT 31、53
- S**
 SCAN 33、55
- T**
 TVプリセットチャンネル 19
 TVモニター 81、89
- V**
 VBR 83、86
 VTR 25



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口（全国共通フリーフォン）

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2002

<KKNEF/02E00000> <CRA3323-B>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1